



学園が震えた日

甲南大学・甲南高等学校・甲南中学校

K O N A N



UNIVERSITY
SENIOR HIGH SCHOOL
JUNIOR HIGH SCHOOL

I 編	
震災復興によせて	4～5
震災以前の甲南学園	6～7
震災日誌	8～18
II 編 大 学	
想い出	20～21
被災—1号館	22～23
2号館	24～25
3号館	26～27
5号館	28～29
7号館	30～31
18号館	32～33
図書館	34～35
その他の施設	36～39
視 察	40～41
仮設校舎	42～43
再生—解体工事	44～45
復興工事	46～47
新校舎完成予定図	48
III 編 高等学校・中学校	
想い出	50～53
被災—1号館	54～55
2・3号館	56～57
その他の施設	58～61
仮設校舎	62～63
再生—解体工事	64～65
復興工事	66～67
新校舎完成予定図	68
IV 編 鎮 魂	
合同慰霊祭	70～71
犠牲者の方々	72
V 編 地 域	
ボランティア	74～75
岡本・芦屋周辺	76
VI 編 資 料	
図書館の被災状況	78～79
学園関係資料	80～91
新聞記事	92～95
あとがき	96



移動した平生先生胸像

震災復興によせて



甲南学園 理事長
小川 守正



甲南大学 学長
中西 典彦



甲南高等学校・中学校 校長
井野 辰男

「災害は忘れた頃にやってくる」寺田寅彦

「常に備へよ」平生飢三郎

今回の地震で、この2つの言葉ほど痛烈に総理大臣以下全国民、なかんづく阪神間の住人の心に訴えるものはなかったと思います。

思えば、この地は昭和13年に関西大風水害時に大土石流(当時は山津波といった)で700人もの人命が失われました。私は旧制甲南高校生でこの大災害を体験しながら、砂防ダムの完成で、この地は日本一安全な地と思込んでいました。全くの不覚としか言いようがありません(今、そのダムも大半砂に埋もれ機能を失っており、再度の山津波の危険がありそうだ)。

なぜ今にしてこのような反省を強いられることになったのでしょうか。

その最大の要因は、近々40年間に世界の経済大国に成長し、いつしか驕慢の心が私達を支配していたからではなかったかと思えます。

プラスの面も発見しました。その最大のものは学生諸君のボランティア活動であります。学校に避難された方々から戴いた沢山の感謝文がそれを物語っています。21世紀の日本を再生する希望の種を見出した思いであります。

この災害で尊い生命を失われた方々の御霊に、この反省と希望を捧げ鎮魂の祈りといたします。

1995年1月17日午前5時46分に発生、死者6,400人強、全半壊の家屋約25万棟、そのマグニチュード7.2といわれる阪神・淡路大震災からはや2年が経とうとしています。

いまや今春3月中旬の竣工を待つばかりの新1・3号館は、甲南大学の復興・再生にふさわしい威容を現しはじめています。まさに21世紀の甲南を代表する新1・2・3号館と、現在も教室として、また管理棟としてグラウンドに立ち並ぶ仮設の校舎群とは、甲南に起こっている新旧歴史の姿を対照的に我々に告げているようです。

大学は16名の尊い生命を失いました。そして我々もまた突然の出来事によって言語に絶する悲しみを味わったのです。その時に“何故甲南大学がこんなに大きい災害に遭わなければならないのか”と、私は何度も自問したものです。旧約聖書に出てくる善人ヨブの物語の中で、“人間苦とは何か”が問われています。因果応報の観念ではなく、突然襲った悲報に善人ヨブは、「わたしは裸で母の胎を出た。また裸でかきこに帰ろう。」と言っています。人間苦、人生の不条理としての死の意味は、人智では測りたい神秘のベールに包まれています。しかし、どんなに大きいダメージを受けても、いま生きている限り生きねばなりません。時間の流れと共に回復が必ず訪れるのです。

オリックス球団の、被災した人々への約束は「どうしても神戸で日本一を決める」という選手たちの言葉でした。彼らはこれを見事に実現し、我々を、そして神戸市民を元気づける最高の贈り物となったのです。彼らの努力に負けないよう、我々も頑張っていこうではありませんか。

平成7年1月17日の早朝、僅か20秒足らずの激震で甲南高等学校・中学校の校舎は壊滅的な被害を受けました。ライフラインや交通機関などが全く途絶えてしまった中で、生徒や教職員の安否の確認と中学入試の準備に全力を挙げたあの熱気に包まれた日々が脳裏に浮かんできます。

芦屋市山手町の校舎で青春の日々を過ごされた甲南生の方々にとって、思い出深い一号館や二号館の校舎が消えてなくなるのは、少年時代の思い出が一杯つまった故郷を失ってしまうのにも等しいショックでありましょう。今回、甲南学園震災写真記録集が出版されることになりましたが、この貴重な記録写真集によって今回の大震災の被害のすさまじさをご確認いただくとともに、また一方では青春時代の懐旧のよすがとしていただければこんな嬉しいことはありません。

甲南高等学校・中学校は今新しく生まれ変わろうとしています。学園の創始者であります平生飢三郎先生の示された理想に向かって、ゆっくりではあっても、しっかりと足取りで前進いたします。

どうぞ同窓生はじめ保護者の皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力を願って止みません。

震災以前の甲南学園



甲南大学岡本校地



甲南大学六甲アイランド校地



甲南高等学校・中学校

震災日誌

キャンパスドキュメント

<95.1.17~6.1>

平成7年1月17日午前5時46分淡路島を震源地とした未曾有の大地震が神戸地区を揺るがし、本学園においても甚大な被害をうけました。

私たちが未だかつて経験したことのない状況のもと、差し迫っている後期試験、入学試験、卒業式、入学式等々の諸問題を解決していかなければなりません。

この日誌は、甲南学園の阪神大震災の記録です。



1号館正面

1月17日(火)

午前5時46分地震発生

余震643回、うち有感地震60回

●1号館の電話(守衛室)が鳴りっぱなし。教職員数名が入学試験、学期末試験等の問い合わせに対応していたが、余震も頻繁にあり危険なため、理学部棟(7号館)の化学薬品に対する対応について、連絡をとったのを最後に、退去する。

●甲南学園対策本部設置

- ・12時頃経営学部長室を対策本部とする。
- ・安全対策として建物倒壊の恐れがあり、1号館と3号館の通路、1号館と5号館の通路を立看板で立ち入らないよう措置する。
- ・教職員・学生の安否の確認。
- ・「後期試験(1月17日)は中止、追って指示する。」と、3号館前・正門前に掲示。

●理学部棟(7号館)火災

- ・有機化学研究室から地震直後に出火133.6㎡燃え、昼前に鎮火する。理学部教職員・大学院生の決死の消火活動、裏山の霊法会の消防車が午前9時頃到着、消防車のポンプを2階まで持ち上げ、受水槽の水で消火する。
- ・生物化学研究室から午後10時頃出火144.0㎡燃える。東灘消防署出動により鎮火。

●避難者への対応

- ・東灘区役所から被災者受け入れの要請。
- ・被災者の避難場所として、一番安全な場所(余震が頻繁にあったため)である9号館に収容する。当初は講演室に収容したが、被災者が多くなり、高齢者、子供等を優先し、第5・6会議室、休息室、教員談話室、講師控室にも収容する。
- ・東灘区役所に救援物資(食料・水・毛布等)を再

三要請したが、対応がなく、午後11時過ぎ直接、職員の車で、東灘区役所へ行くが、入手したものは、1人当たりダンゴ1本か饅頭1コであった。不足分は9号館各事務室より菓子類を調達し配給した。飲料水も高齢者、子供等を優先し、少量ずつ配給した(500人分)。

・全館停電でローソクを頼りに対応する。

●小川理事長は、

- ・午前7時頃理学部棟(7号館)の火災を知り、駆けつける。
- ・住友建設、大林組、竹中工務店に仮設校舎建設を依頼。
- ・職員の車で事務局長と甲南中学・高校の確認に行くが、2号線が渋滞のため断念する。

●中西学長は、

私大連盟の学長会議に出席のため、東京へ出張中。関西方面の学長と、帰神を試みるが、新幹線が不通のため断念(翌18日の早朝新幹線で帰神するが、新幹線は京都迄しか運行されておらず在来線で西宮まで行き、そこから徒歩(約3時間)で大学に午後3時頃到着)。

高等学校・中学校

- 被害甚大。
- 校長・教頭をはじめ登校した教職員により校内の状況把握と打ち合わせ。
- 竹中工務店より状況確認に来校。

1月18日(水)

魚崎埋め立て地のLPガス漏れによる避難勧告

余震113回、うち有感地震17回

- 経済・法学部の事務室・学部長室・図書作業室の書架、ロッカー等を片付け、仮事務室とする。

●避難者及び外部の者の対応のため、9号館1階に総合案内所(受付)を設け、職員を配置し、併せて宿直制度を設ける。甲南大学生協の在庫食料品、飲料を対策本部用に購入。

●教職員の安否は、各部局毎に分担を決め、各教職員に電話で確認。

●対策本部会議：午後1時~午後5時

- 理事長から、冒頭に次の報告があった。
- ・仮設校舎の発注(全体で20棟、そのうち10棟は1月末には完成予定)。
- ・建物の被害状況。

議題のうち、大半が次の2点で終始した。

①1995年度入学試験について

○試験日

試験は当初どおり、2月1日から実施することで変更は考慮せず(使用できる校舎は、西校舎、6・8・10号館、講堂兼体育館。問題は受験生の交通手段であるが、大阪方面は、阪神電鉄が青木駅、JRが芦屋駅まで運行されるのではという見込みであった)。

○出願期間の延期

持参する者のみ、1月23日まで延期が決定。

②後期試験について

方法として

- イ、レポート方式
- ロ、平常点で成績をつける
- ハ、試験日の延期

の3点が考えられたが、レポート方式とし、締切日については、3月24日の卒業式から逆算して2月16日締切が決定。また、機械処理上を考慮して、一括締切日とすることとなった。次にテーマについては各講義のテーマを1000字以内のレポートにすることを決定。学生への通知は父母の住所に郵送で通知



1号館玄関アーチ



1号館東側

することも併せて決定。

● 学生部関係

- 学生部(3号館)から学生の住所録の一部を取り出す。
- 電話交換室が閉鎖されており、学生の死亡連絡はなし。
- 学生の安否確認・転居(連絡)先は、主として大学に訪ねてきた学生から情報を得て記録する。

● 入試事務室関係

- 神戸学院大学から、試験場と監督員提供の申出をいただく。

● 避難者への対応

- 魚崎埋め立て地のLPガス漏れによる避難勧告(午前6時7万人対象)が出たため、甲南大学への避難者が、一時は1,200名程度となる。
- 避難者名簿の作成。
総数約1,155名(午後9時時点)。
9号館(213名): 講演室 71名・休息室15名・非常勤講師控室13名・教員談話室33名・第6会議室81名
10号館(454名): 1011講義室153名・1012講義室125名・ロビー及び廊下176名
学生会館ラウンジ(約200名) 小体育館(138名) グラウンド(150名)(車50台)
- 会議及び業務遂行のため、9号館に収容した避難者に対し、夜、学生会館に移動を要請。

高等学校・中学校

- 学園より理事長ほか来校。
- 災害による行事変更について打ち合わせ。
- 全教職員の安否について終日教頭が電話連絡。

1月19日(木)

- 職員が電話交換室の電話で外部からの入試及び学期末試験等の問い合わせに対応。

- 「入試願期間延長及び学期末試験をレポート方式に変更」を報道関係者(大阪・記者クラブ)に通知。

- 対策本部において教職員の出勤者の状況を管理。
- 文部省から、FAXにより受験生への安全性確保、出願期間延長等の配慮の依頼。

- 仮設校舎第1期建設工事開始(3,240㎡)。

● 経理課関係

- 1月分給与データをさくら銀行住吉支店が機能マヒのため、三宮のさくら銀行神戸営業部へ自転車により持参。

● 教務部関係

- 掲示「後期試験は中止し、レポートとする。詳細は追って指示する。」

● 学生部関係

- 学生部(3号館)から学生の住所録の全部を搬出。
- 学生の安否確認。
- 死亡学生への対応(死亡7名不明1名)の連絡あり。

● 避難者への対応

- 避難者数(午後11時時点の人数557名+α)
10号館231名、学生会館213名、小体育館113名
グラウンド 不明

高等学校・中学校

- 教職員の安否について確認終了。
- 生徒の安否を各担任より連絡開始。

1月20日(金)

西岡本6・7丁目避難勧告(地滑りのため)

● 部局長会議

- 地滑り等のため岡本6・7丁目に避難勧告があり入試試験場として西校舎の使用が困難。また、2号館が倒壊する恐れがあり、6・8号館も使用困難。試験場の安全性・大学への交通アクセス・受験の環境

等受験生への配慮のため、試験日延期を決定。

● 入試日程

A日程 2月21日(火) から2月25日(土)とし、経営学部、法学部、理学部、文学部、経済学部の順で実施。

B日程 2月27日(月) 全学部が実施。

● 試験会場

A日程の試験会場を甲南大学と他大学に分散する方向で至急検討するよう指示。

- 追加出願期間の設定。

● 部課長会議

- 被災状況について
- 今後の勤務体制について

● 教務部関係

- 教務部内より書類等搬出。
重要書類は図書館読書室へ搬入、コンピュータを電算センターへ搬入(コンピュータ会社へ点検依頼)。

● 学生部関係

- 死亡学生への対応。
- 早稲田大学学生部長震災見舞いのため来部。

● 入試事務室関係

- 文部省高等教育局大学課入試室長に入試日程変更をFAXで通知。

高等学校・中学校

- アートサロンで高校卒業判定会議。
- 全生徒に「自宅待機」の指示掲載を報道機関に依頼。
- 物的被害・人的被害に関し兵庫県へ報告。
- 被害状況写真撮影。
- 仮設水道を引くための配管工事。

1月21日(土)

岡本7丁目の避難勧告拡大される。



避難所として使用された学生会館



避難者のために駐車場として使用されたグラウンド

- サンテレビで入試日程等の変更報道される。
- 日本私立大学連盟事務局長視察。
- 入試日程変更・在学生に学期末試験をレポートにする変更広告を全国紙に発注。

● 教務部関係

- ・ 成績、証明書等重要書類は、図書館読書室へ搬入。
- ・ 非常勤講師(約120名)へDMを大阪より発送。「後期試験及び成績評価について」
- ・ 学生各位、教員各位、新聞広告等の原案づくり。
- ・ 全学生へのレポートに関するDM検討。

● 学生部関係

- ・ 死亡学生への対応。

高等学校・中学校

- 登校者により校舎内外の整理。
- 連絡のない生徒について各担任が家庭訪問。

1月22日(日)

- 東灘区役所から派遣されている職員に避難者の対応について理事長・区長のトップ会談設定を申し入れる。トップ会談を了承する旨回答がある。

● 教務部関係

- ・ 教室損壊のため、使用できる教室が65教室から30教室となる(西校舎15教室・6号館5教室・8号館7教室・10号館3教室)。
- ・ 教室確保のため駐車場跡、西校舎、能楽練習場などあらゆる可能性を検討。

● 学生部関係

- ・ 死亡学生への対応、葬儀社へ供花依頼のFAX。

● 避難者への対応

- ・ 避難者数(午後8時時点の人数554名)
10号館278名 学生会館189名 小体育館87名

高等学校・中学校

- 竹中工務店より被害箇所調査に来校。

1月23日(月)

- 教職員に対して理事長・学長連名の連絡文書配付。
- 入試日程変更・在学生向けに学期末試験をレポートにする変更広告掲載(朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・産経新聞)。

● 経理課関係

- ・ 被災地の入学生については初年度授業料が減免されることが決定し、その具体的な実施に向けて検討。

● 教務部関係

- ・ 学生用DM 原稿印刷(12,000部)
- ・ 専任教員へDM発送。「後期試験及び成績評価について」「教職員各位」ースケジュール、勤務等について
- ・ コンピュータ点検作業。

● 学生部関係

- ・ 文部省学生課へ死亡学生氏名第1回報告。
- ・ パソコンを取り出し、学生住所の記録が保存されていることを確認、これに学生の安否情報、転居(連絡)先を入力開始。
- ・ 学生の安否確認:クラブ・サークル、指導主任を通じて積極的に情報収集を開始。
- ・ (社)全国大学保健管理協会近畿地方部会の代表世話人校として、1994年度の総会、委員校会議、保健婦看護班幹事校会、栄養士班幹事校会、近畿地区評議員会を2月22日日本で開催予定であったが開催は不可能となり、前代表世話人校の同志社大学において開催することが決定。

● 入試事務室関係

- ・ A日程本学会場の分散会場として、神戸学院大学

と関西大学の校舎借用の了承が得られる。

神戸学院大学 1月21日～1月27日

関西大学(天六学舎) 1月21日～1月27日

関西大学(千里山学舎) 1月26日～1月27日

- ・ 出願者に対して入試日程変更通知郵送。

(第1便 12,163通)

- ・ 入試日程変更に伴う問い合わせ電話殺到。

(1日約400～500件)

- ・ 出願取消者への文書の送付。

(1月23日～1月27日)

● 図書館関係

- ・ 事務室、2階参考図書・雑誌コーナー復旧開始。

● 避難者への対応

- ・ 近畿大学職員からのボランティア(うどんの焼き出し支援)。

高等学校・中学校

- 書道教室に「本部」を設置、電話4本仮設。

- 入試関係の問い合わせ殺到。

- 文部省から視察に来校(理事長同行)。

- 三田市の給水車から水の供給を受ける。

1月24日(火)

- 文部省私学助成課課長補佐他数名が被災状況を視察。

- 入試日程変更・在学生向けに学期末試験をレポートにする変更広告掲載(神戸新聞)。

● 教務部関係

- ・ 学生用DM封入作業(教職員応援約20名)。

「学生各位一後期試験について」

「平成6年度後期試験レポート用紙」

- ・ 学生へのレポートの周知方法を検討。

- ・ 成績報告書の再作成を検討。



対策打ち合わせ中の理事長(左)と学長



被災した学長室

● 学生部関係

- ・17日から推薦入学者に対し下宿紹介の予定であったが、予約者の書類が不明のため、連絡方法がなく先方からの連絡で対応するしかなかった。下宿物件の確認を1件ごとに現地にいき、写真も撮影。

● 避難者への対応

- ・理事長と東灘区長とのトップ会談の日時設定を東灘区役所総務課長に依頼し、神戸市側の対処を具体的に示してもらうように要請。

高等学校・中学校

- 中学願書受付この日まで延長。
- 受験票・要項変更書類作成、出願者へ発送。
- 校長より学園へ仮設校舎建設依頼。
- 文部省より被害状況調査。

1月25日(水)

- 「後期試験をレポートに変更」の通知を全学生に発送。
- 入試日程変更・在学生向けに学期末試験をレポートにする変更広告掲載（日本経済新聞）。
- バッファロー大学ダネット氏震災見舞いのため来学。
- 学習院大学庶務部長、総務部次長、学生部課長震災見舞いのため来学。
- 理事長・副学長が文学部教授会に出席し、被害状況、復興計画等の説明。

● 教務部関係

- ・地震のため実施できなかった後期試験(1月17日～1月28日)の科目数と受講者数は、455科目84,357名。
- ・兵庫県教職員課(教育委員会)に免許交付日程の変更の承認を得る。
- ・大学執行部と打合わせ

- ① レポート(提出、成績締切り、レポート整理の応援制)

② 平成7年度学年暦(行事予定)(案)

● 入試事務室関係

- ・関西大学総務局次長に2月27日の千里山学舎での監督員の応援を依頼。
- ・運送会社と試験問題・答案の輸送について打ち合わせ。

高等学校・中学校

- 入試期日変更を校長会が決定。
- 「入試日程変更・在校生への登校連絡」の新聞広告発注。

1月26日(木)

● 部局長会議

- ・1995年度入試実施要項について
- ・入学生への授業料減免措置について
- ・卒業式・入学式の日程変更について
- ・平成7年度行事予定(案)について

● 施設課関係

- ・火災のあった7号館実験室の現場検証が東灘消防署により行われる。

● 入試事務室関係

- ・文部省高等教育局大学課入試室長に平成7年度入学試験場等通知。
- ・高等学校長宛に被災地に居住されている志願者に対して、追加出願期間を設けたことのお知らせ。

高等学校・中学校

- 各担任による生徒の安否確認終了。
- 全校生徒の電話連絡網作成。

1月27日(金)

- 教職員に対する弔慰金・見舞金を常任理事会決定。

● 教務部関係

- ・仮設校舎について打ち合わせ。教室を確保し、残りを事務棟とする。

● 学生部関係

- ・文部省学生課へ死亡学生氏名第2回報告。
- ・新入生と同時に下宿先が被災した在学生対象の下宿斡旋を開始。

● 図書館関係

- ・本学学生の図書館利用(学生証による)を3大学に協力依頼。
関西大学(2月9日～3月31日、後日4月末日まで延長)
近畿大学(2月25日～3月31日)
神戸学院大学(3月1日～3月31日)
その後、私立大学図書館協会京都地区の大学、大阪市立大学、大阪工業大学、摂南大学から、学生証による利用許可の申出をいただく。

● 入試事務室関係

- ・関西大学総務局から監督援助要請を了承する旨の連絡をいただく。
- ・出願者に対して入試日程変更通知発送(第2便8,019通)。

高等学校・中学校

- 中学入試第二会場設置に関し明石南高校と打ち合わせ。

1月28日(土)

- 与謝野文部大臣、他5名が本学の被災状況を視察。
- 関西大学・神戸学院大学へ平成7年度入試のための校舎借用願いを送付。
- 学生部関係
・倒壊した下宿に代わって新たな下宿物件開拓に甲南大学生協と協力して努める。



広島市からの災害救援車



殺到する電話に対応する職員

高等学校・中学校

- 明石南高校へ入試会場借用正式申し入れ。
- 甲南設備より設備点検に来校。
 1. 甲友会館屋上のタンク破損、電源を切り、バルブを閉じ止水。
 2. 食堂調理場の水道パイプ破損、バルブを閉め止水。
- 竹中工務店より講堂・体育館の点検に来校。

1月29日(日)

- **教務部関係**
- 印刷業者より受講要項等は無事との電話連絡が入る。

高等学校・中学校

- 芦屋消防署より被害状況の調査。

1月30日(月)

- 入試日程変更・在学生に学期末試験をレポートにする変更広告を全国紙に発注。
- 理事長・学長が理学部教授会に出席し、被害状況、復興計画等の説明。
- 学園としての実行委員会を設置し、合同慰霊祭の検討を開始。
- **部課長会議**
 - ① 仮設校舎への移転について
 - ② 卒業式の変更について
 - ③ 平成7年度行事予定について

● 学生部関係

- 一旦廃業していた岡本7丁目の学生寮甲南荘の再開を家主に依頼する。再開の快諾を得る。

高等学校・中学校

- 教員会議。

1月31日(火)

西岡本6・7丁目の避難勧告一部解除される。

- 仮設校舎第1期建設工事(3,240㎡)が完成。
- 理事長が東灘区長と本学における避難者対策で会談。
- 日本私立大学連盟会長と事務局長が被災状況を視察。
- 理事長・学長が経営学部教授会に出席し、被害状況、復興計画等の説明。
- 教職員に対して理事長・学長連名の「1995年度入試業務について(お願い)」を配付。

● 学生部関係

- 日本育英会からの文書「兵庫県南部地震による災害採用について」を、郵便で全学生に通知し、新入生についても合格通知に同封するなど全員に周知を図る。4月末まで受け、数回にわたって日本育英会に推薦、その数は300余名となった。
- 日本国際教育協会学生生活課長に「留学生緊急援助金」について確認。

2月1日(水)

- 理事長・学長が経済学部教授会に出席し、被害状況、復興計画等の説明。
- 理事長が職員一同を集め、被害状況、復興計画等の説明。
- 仮設校舎(事務棟)の各部課室割当について会議。
- 職員の出勤簿の管理を従来どおり各部課室で行う。
- 甲南大学生協が大学教職員のために営業(昼食)開始。
- **教務部関係**
- 兵庫県大学洋上セミナーひょうご'95の実施について洋上セミナー実行委員会からFAX照会。

● 学生部関係

- 自宅被災、勤務先・自営店舗等の被災のため、学費減免、奨学金についての問い合わせ、相談が多くなる。以後4月まで続く。
- 下宿紹介を予約していた新入生から「下宿は他で決めた」との連絡が入るようになる。
- 神戸市からの義援金交付が2月6日(月)から開始されるので、被災学生に伝える。

● 入試事務室関係

- 本学試験場の使用教室及び使用順位確定(10号館→仮設校舎→西校舎)。
- 追加出願要項作成・送付(被災地の高校・予備校等)。

高等学校・中学校

- 高校入試出願開始(2月8日まで)。
- 中学入試受験票の切手を剥がし、試験日変更の案内を同封し郵送する準備。
- 文部省より校舎内外の被害調査(応急危険度の判定)。
- 「入試日程変更・在校生への登校連絡等」の新聞広告掲載(朝日新聞)。

2月2日(木)

● 部局長会議

- 被災による死亡者3名の卒業認定について
- 甲南学園合同慰霊祭について
- 教室建設計画について
- 岡本校地グラウンドでの体育実技について
- 六甲アイランド校地での正課体育授業の実施について

● 教務部関係

- 学生へのDM(2回目)発送打ち合わせ。



対策本部の掲示物



西側から見た1号館北側

- 内容：①庶務部一学長挨拶文、卒業式案内。
②教務部一3・4月行事予定、平成7年度年間スケジュール。
③学生部一健康診断、学生証交付の案内。
④電算センター・図書館一開館時間。

・レポートの配布について
専任教員は直接手渡し、非常勤講師には郵送する。

高等学校・中学校

- 「入試日程変更・在校生への登校連絡等」の新聞広告掲載（神戸新聞）。

2月3日(金)

- 入試日程変更・在学生に学期末試験をレポートにする変更広告掲載（朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・産経新聞・日本経済新聞・神戸新聞）。
- 理事長・副学長が法学部教授会に出席し、被害状況、復興計画等の説明。

●授業料減免について打合せ会議(第1回)

- ・1995年度入試合格者に対する授業料減免措置について減免対象、申請書類・期間・場所、減免方法の確認。
減免対象を学費負担者の自宅の全壊・半壊、全焼・半焼、学費負担者の死亡とする。

●学生部関係

- ・ボランティア学生を対象に天災危険担保の保険に加入。
- ・芦屋市が死亡弔慰金の支給を2月17日から開始すると新聞報道に接し、芦屋市内の下宿で死亡した学生の遺族に連絡。

●図書館関係

- ・鬼頭梓建築設計事務所被害調査（8名来館）。

●入試事務室関係

- ・神戸学院大学試験場下見。
- ・入学者の授業料減免について打ち合わせ。
- ・出願取消者チェック開始。

高等学校・中学校

- 高二生徒登校。
- 書道教室が危険なため食堂へ本部移動開始（2月9日まで）。
- 中学入試受験票発送。
- 文部大臣あてに復旧工事に係る事前着工届を提出。

2月4日(土)

- 入試事務室関係
- ・出願取消者へ受験料返還受付文書送付開始（487通）。
- ・入試実施のための準備作業。

高等学校・中学校

- 高一生徒登校。

2月6日(月)

- 仮設校舎第2期建設工事開始（5,385.52㎡）。
- 部課長会議
- ・仮設校舎(事務棟)の割り当てについて
- ・レポートについて
- ・学生へのDM送付について
- ・建物の解体について
- ・避難者について（2月6日をもって避難者約170名は10号館を退出）。

●教務部関係

- ・学生へのDM資料印刷・紙折り作業。
- ①甲南大学在学生の皆様へ・父母保護者の皆様へ。
- ②平成7年度行事予定及び平成7年3月～5月行事予定。

③各部局からのお知らせ。

④就職部からのお知らせ（3年次のみ）。

●図書館関係

- ・1階開架閲覧室の散乱図書を整理（2月9日まで）。

高等学校・中学校

- 中3生徒登校。

2月7日(火)

●教務部関係

- ・学生へのDM資料封入作業（教職員応援約20名）。

●学生部関係

- ・岡本7丁目の学生寮甲南荘の家主が来部。部屋数は40室、家賃4.5畳8,000円、6畳12,000円、敷金・保証金なしとの条件で提供願えることになる。この後、学生部職員で甲南荘を掃除したりゴミを捨てたりする。

●入試事務室関係

- ・C日程願書受付開始。
- ・関西大学へ監督援助者20名要請し、了承を得る。
- ・成蹊大学より監督援助者7名の申出をいただき、5名を依頼。

高等学校・中学校

- 中2生徒登校。

2月8日(水)

- 私立大学情報教育協会事務局長被災状況を視察。

●教務部関係

- ・学生へのDM(第2回目)資料発送（10,052通）。
- ・兵庫県大学洋上セミナー「ひょうご'95の実施について」洋上セミナー実行委員会へ回答。

●学生部関係

- ・父母の会野村会長が来部。父母の会災害見舞金



倒壊した学生下宿



激励の横断幕

をはじめ、今後の対応について相談。災害見舞金は規定では5万円まで支給できるが、件数が多く対応できないと予想され1万円とする。

- ・父母の会臨時委員会を3月中に開催することを決定。

●入試事務室関係

- ・追加願書受付開始(2月15日まで)。
- ・出願取り消し締め切り。
- ・受験票送付。

高等学校・中学校

- 中1生徒登校。
- 高校入試受験票の切手を剥がし、試験日変更の案内を同封し郵送する準備。
- この頃から一週間、甲南大学生協幹旋の学生ボランティア(8~10名)および教員有志により図書館書庫・閲覧室の書架を引き起こし、図書の片付け実施。

2月9日(木)

●部局長会議

- ・教務関係対策について
- ・平成7年3月~5月行事予定について
- ・成績評価マニュアルについて
- ・10号館ゼミ室の使用方法について
- ・被災学生の授業料減免の取り扱いについて
- ・1995年度入試在籍目標者数について
- ・追加合格者の発表日程と取り扱いについて

●入試事務室関係

- ・関西大学試験場下見。

●学生部関係

- ・大阪留学生会館、神戸入管より、外国人留学生の地震による一時帰国後の再入国について関西空港内でできるようにしているとの連絡。

●図書館関係

- ・3階書庫の散乱図書を配架開始。

高等学校・中学校

- 教員会議。
- ガス復旧。

2月10日(金)

- 9号館に水道が復旧。
- 被災校舎1号館から取り壊し開始。
- 学園本部会議
- ・被災学生への授業料減免措置について
- ・甲南学園合同慰霊祭について

高等学校・中学校

- 高二生徒登校。
- 中学入試問題印刷。
- 高校入試受験票発送。

2月11日(土)

●学生部関係

- ・学生部長名で教員各位に「学生の安否確認に関して(お願い)」を配付。

●入試事務室関係

- ・受験票未着の問い合わせ。
- ・受験変更に伴う受験票の破棄通知発送。

2月13日(月)

- 学長・事務局長が神戸学院大学へ試験場借用の挨拶。

●7号館に水道が復旧。

●教務部関係

- ・レポート受付、整理場所の設営。

●学生部関係

- ・仮設校舎に移転、下宿紹介業務を仮設校舎で行う。

2月14日(火)

- 文部省高等教育局吉田局長被災状況を視察。

●教務部関係

- ・レポート受付(2月16日まで)及び整理(職員の応援10名)。

●入試事務室関係

- ・監督等係員割り当て。
- ・公募制推薦第2次入手続き開始。
- ・入試問題受領、輸送。

●図書館関係

- 日本図書館協会被害調査(2名来館)。

高等学校・中学校

- 授業再開へ向けて、西部分校設置の可能性を明石高校と打ち合わせ(実施せず)。

2月15日(水)

- 1号館正面玄関取り壊される。

●学生部関係

- ・学生部と体育会系団体との懇談会。

2月16日(木)

●入試事務室関係

- ・入試実施要項作成完了。

●教務部関係

- ・レポート受付、整理(教員の応援10名・職員の応援10名)。

- ①最終日でもあり、またJRが大阪~住吉まで開通したことにより予想より多くの学生が殺到する。人事課・学生部に急遽応援依頼する。受付場所を10号館ロビーに増設。



仮設校舎での入学試験

②試験に代わるレポートだけでなく教員が独自に課していたレポート・ノートの提出。実験レポートなど種々のものが持ち込まれる。

・震災による死亡学生の卒業について文部省高等教育局大学課法規係と協議。

文部省：①授業が終了していればよい。

②大学設置基準との関係において在籍日数が不足していても、単位が充足していれば、大学の判断で可。

③卒業が正式に決定すれば文部省に電話願いたい（3月23日電話報告する）。

●図書館関係

・甲南大学生協ボランティアで3階書庫紀要配架。

2月17日(金)

●阪神間私立大学・短期大学連絡会議発足。

●理事長・学長と自治会執行部との懇談会。

●理事会

・損壊校舎解体について

・大学、高中仮設校舎等建設について

・被災学生、生徒に対する授業料減免措置について

●入試事務室関係

・入試実施要項教職員へ配付。

・入試問題仕分け作業。

・C日程願書受付締め切り。

高等学校・中学校

●二部授業開始（3月17日まで）。

●文部省校内被災調査。

●校内ビデオ撮影。

2月18日(土)

●教務部関係

・レポートの整理、点検（教員の応援20名）。整理できたレポートは午後から専任教員に配付する。

・非常勤講師分は郵送のため封入作業（約半数発送）。

・不明確なレポートの整理、封入作業。

●入試事務室関係

・入試答案仕分け作業。

高等学校・中学校

●育友会・評議委員会。その後、被災状況を視察。

2月20日(月)

●教務部関係

・文部省高等教育局大学課長名で依頼のあった兵庫県南部地震に伴う学生の修学等に係る措置について回答。

内容：①補講の実施。

②追試の実施。

③レポート等の授業における提出物の提出期限の延長。

④卒業論文、学位論文の提出期限の延長。

⑤レポート等の提出による単位の認定。

⑥その他（仮設校舎の建設、前期行事予定、就職指導）。

●学生部関係

・日本大学学生部長震災見舞いのため来部。

●入試事務室関係

・各試験場設営（神戸学院大学、関西大学を含む）。

・受験料返還申出期限。

・追加出願受験料経理課へ入金。

●施設課関係

・仮設校舎第1期工事（事務棟）が完成。

高等学校・中学校

●仮設校舎建設開始（3月29日まで）。

2月21日(火)

●甲南大学入学試験（A日程経営学部）開始。

2月22日(水)

●自民党衆参両院文教部会会長・副会長一行6人被災状況を視察。

●甲南大学入学試験（A日程法学部）。

2月23日(木)

●日本私学振興財団常務理事他、被災状況を視察。

●甲南大学入学試験（A日程理学部）。

●学長・事務局長が関西大学へ試験場借用の挨拶。

●教務部関係

・レポート（第2回目）締め切り。

・封入、発送準備最終チェック（レポート提出者）。

2月24日(金)

●甲南大学入学試験（A日程文学部）。

●図書館関係

・平成6年度第2回私大図書館協会阪神地区協議会（欠席）。学生、教職員の加盟図書館利用を照合事項として提案。

2月25日(土)

●甲南大学入学試験（A日程経済学部）。

●学生部関係

・学長、父母の会会長連名で「被災地に居住なさっている父母の皆様へ」を被災地居住の1～3年次生の父母宛3,030人に郵送し、返信用ハガキを同封して被災状況を調査（学費減免・災害見舞金等の資料とするため）。



仮設校舎での中学校授業



中学校卒業式

2月26日(日)

高等学校・中学校

- 高校入学試験第1日(甲南大学)。

2月27日(月)

- 甲南大学入学試験(B日程 全学部)。

・岡山会場は山陽新幹線の事故のため、開始を30分遅らす。

高等学校・中学校

- 高校入学試験第2日(甲南大学)。
- 芦屋市教育委員会より援助物資(文具23箱搬入)。

2月28日(火)

● 図書館関係

・1階開架閲覧室倒壊書架撤去。

● 教務部関係

・図書館地階から仮設校舎へ移転。

高等学校・中学校

- 教員会議(甲南大学)。
- 高校入試合格者発表(甲南大学)。

3月1日(水)

- 仮設校舎に各部署(入試事務室を除く)移動完了。

- 文部省兵庫県南都地震対策班来学。

● 図書館関係

学生ボランティア(自治会委員ら23名)で4階書庫配架。

高等学校・中学校

- 中学入学試験第1日(甲南大学・明石南高校)。
- 高校第二次入試出願受付開始(10日まで)。

3月2日(木)

- 甲南学園対策本部解散。

- 授業料減免について打合せ会議(第2回)

・1995年度入試合格者に対する授業料減免措置について減免対象、申請書類・期間・場所、減免方法の確認。減免対象の条件として学費負担者の自宅の全壊・半壊、学費負担者の死亡のいずれかとする。

● 図書館関係

・学生ボランティア(自治会委員ら15名)で4階書庫配架。

高等学校・中学校

- 中学入学試験第2日(甲南大学・明石南高校)。

3月3日(金)

- 合同慰霊祭4月17日開催予定と神戸新聞に報道される。ただし、3月中旬に最終決定と付記。

● 図書館関係

・学生ボランティア(自治会委員、ヨット部)で4階書庫配架(3月9日まで)。

3月4日(土)

高等学校・中学校

- 教員会議。
- 中学入試合格者発表(甲南大学)。

3月5日(日)

高等学校・中学校

- 文部省被災状況調査。

3月6日(月)

- 入試合格者揭示発表。

● 経理課関係

・大学入試合格者の授業料減免申請受付。

高等学校・中学校

- 在校生 課題レポート提出。

3月7日(火)

- 文部省私立学校施設災害復旧事業現地調査。(大蔵省監査部立ち会い)

3月8日(水)

- 甲南学園合同慰霊祭について業者との打ち合わせ。

- ガス復旧。

高等学校・中学校

- 高校卒業式(第45回)。

3月9日(木)

- 甲南大学大学院入学試験(3月10日まで)

高等学校・中学校

- 二部授業再開。
- 芦屋市長から「り災証明」を受ける。

3月11日(土)

- 甲南大学入学試験(C日程理学部)。

3月13日(月)

● 経理課関係

・平成7年度入学試験日程変更により、出願取消者1,684名に受験料を返金。

高等学校・中学校

- 中学入学手続き。



卒業式



卒業式



卒業式

- 新入生説明会。

3月14日(火)

高等学校・中学校

- 高校二次入学試験(即日発表)。

3月15日(水)

- 文教関係より復旧計画を聴取に来学。
 { 総理府復興対策本部文部省企画官
 文部省復興対策連絡調整室総務課法令審議室係長

● 総務課関係

- 合同慰霊祭日程、形式等打ち合わせ。

3月16日(木)

- 3号館取り壊される。

3月17日(金)

- 被災状況を視察。
 { 文部省高等教育局佐々木私学部長
 文部省高等教育局私学行政課長補佐
- 図書館関係
 ・ 開架書架撤入、設置及び耐震工事(3月21日まで)。

3月18日(土)

高等学校・中学校

- 中学卒業式(NHKテレビ取材)。
- 高等学校・中学校終業式。

3月20日(月)

- 学生部関係
 ・ 授業料減免と下宿見舞金交付及び父母の会災害見舞金についての案内文を1~3年次生の全学生に郵送。

3月22日(水)

● 施設課関係

- 新校舎建設のための復旧会議(第1回)。
 甲南学園復興事務所(仮設)にて、被災校舎(1、2、3、5号館)敷地の地盤構成を把握するため地質調査を開始。

高等学校・中学校

- 高校入学手続き。
- 新入生説明会。

3月23日(木)

● 図書館関係

- 学生ボランティアで1階開架図書配架(3月24日まで)。

3月25日(土)

高等学校・中学校

- 補充授業開始(4月4日まで)。
- JR全通まで始業10時(短縮5限)とする。

3月27日(月)

● 総務課関係

- 合同慰霊祭打ち合わせ。

高等学校・中学校

- 文部省・兵庫県による調査(仮設校舎の現地調査)。

3月28日(火)

● 卒業式

- 震災により死亡した4年次学生(3名)のご遺族出席、卒業証書手渡す。
- 大蔵省主計官、会計課長被害状況を視察。

3月29日(水)

- 甲南学園合同慰霊祭実行委員会第1回開催。

3月30日(木)

● 施設課関係

- 新校舎建設のための復旧会議(第2回)。

高等学校・中学校

- 文部大臣より復旧補助金交付決定通知。

3月31日(金)

● 理事会(震災関係のみ)

- 災害復旧事業に係る資金の借入について
- 震災寄附金の募集について
- 学園の復興を目指して

4月7日(金)

- 文部省職員4人が被災状況を視察。
- 甲南学園合同慰霊祭のため学内援助者の依頼。
- 施設課関係
 ・ 新校舎建設のための復旧会議(第3回)。

4月8日(土)

高等学校・中学校

- 入学式。

4月10日(月)

- 甲南学園合同慰霊祭開催の新聞広告掲載(朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞、神戸新聞)。
- 高等学校・中学校
 ・ 始業式。

平成7年度 入学宣誓式



入学式



仮設校舎での講義開始



高校入学式

4月11日(火)

- 甲南学園合同慰霊祭実行委員会第2回開催。

高等学校・中学校

- 学力テスト。
- 中1オリエンテーション。
- 阪急電鉄全通まで9時30分始業とする(阪急は6月12日に全通)。

4月12日(水)

- 総務課関係
- 合同慰霊祭実施打ち合わせ。

4月13日(木)

- 施設課関係
- 新校舎建設のための復旧会議(第4回)。

4月14日(金)

- 合同慰霊祭関係者の打ち合わせ。
- 職員援助者総勢61名。

4月15日(土)

- 兵庫県南部地震甲南学園合同慰霊祭を午後1時より講堂兼体育館において挙る。
- 4年次を除く死亡学生に「在籍証書」を配付。

高等学校・中学校

- 合同慰霊祭(甲南大学)に高一・二生徒参列。

4月16日(日)

- 避難者への対応
- 最後の避難者(42名)が大学のキャンパスから自宅やほかの避難所などに移される。

4月22日(土)

● 施設課関係

- 新校舎建設のための復旧会議(第5回)。
- 仮設校舎第2期建設工事(5,385.52㎡)完成。

4月24日(月)

● 入学式

4月26日(水)

● 施設課関係

- 理学部棟(7号館)火災にあった実験室の復旧工事完了。

4月28日(金)

- 平成7年度講義開始。

5月26日(金)

● 理事会(震災関係のみ)

- 甲南中学、高等学校1、2、3号館解体について
- 甲南学園震災復興基金について

● 図書館関係

- 2階参考図書書架、雑誌架、カードボックス等補修及び耐震工事(5月29日まで)。

6月1日(木)

● 図書館関係

- 全館開館(2階第3閲覧室等開室、2階カウンター業務再開)。

■ 鉄道復旧の足どり



神戸新聞総合出版センター「航空写真集阪神大震災(資料提供:神戸新聞社1996年1月17日掲載)」より転載

Ⅱ 編

大

U N I V E R S I T Y

学



1号館レリーフタイル

想い出



3号館



2号館



1号館玄関アーチ



5号館

1号館



18号館正門



18号館全景

被災

1号館



北東側



1階 ホール・階段



玄関アーチ



内部から見た財務部



財務部前通路



2号館から見た渡り廊下



東側から見た財務部

被災

2号館



7階 講義室



掲示版



東側の柱



西側



壁が落下した北側スロープ①



壁が落下した北側スロープ②



壁が落下した北側スロープ③



東側

被災

3号館



東側1階柱



西側



南側



西側



西側



東側



2階講義室前通路



学生部南側通路

被災

5号館



西側



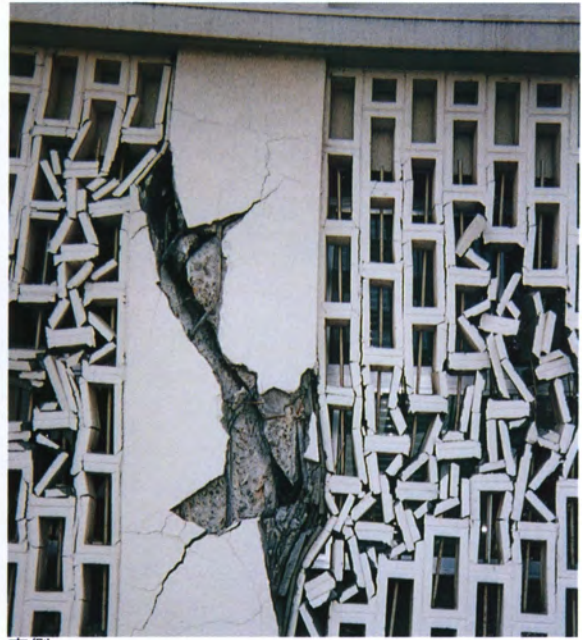
北側入口前



東側



西側



東側

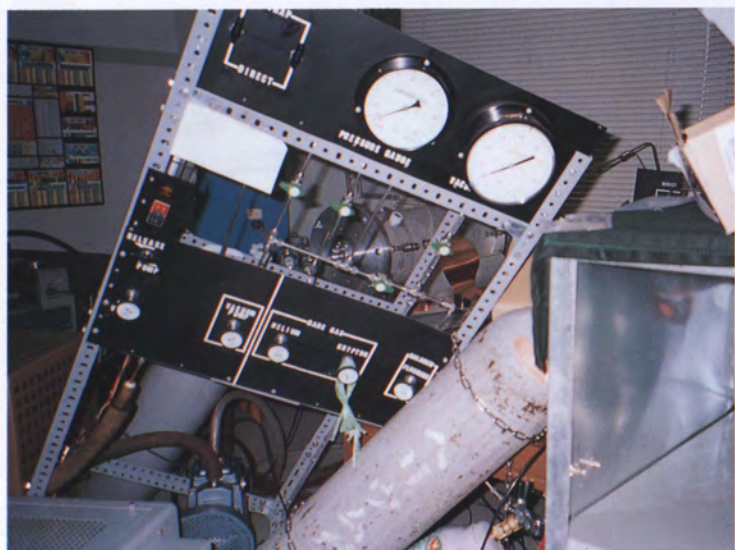


被災

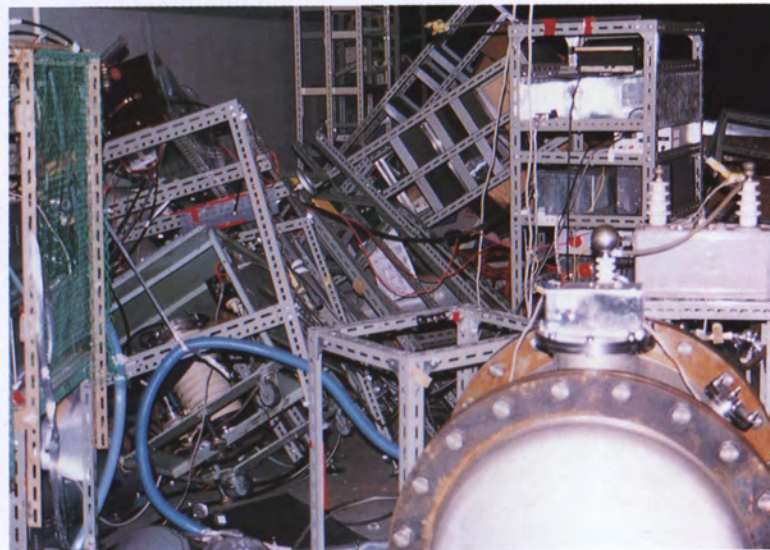
7号館



4階化学実験室



3階応用物理学研究実験室



1階応用物理学研究実験室



4階化学実験室



4階生物学実験室



4階化学実験室

被災

18号館



南西側



内部



南側の崩れた石垣



玄関



内部



南側

被災

図書館



1階 閲覧室



2階 雑誌コーナー



屋上



2階 事務室



4階 書庫

被災

その他の施設



グラウンド北側の塀



11号館北側の塀



11号館東側



グラウンドの観覧席



グラウンド東側の塀

被災

その他の施設



大きく亀裂が入った講堂兼体育館時計台北側



天井の照明器具が落下した講堂兼体育館のフロア



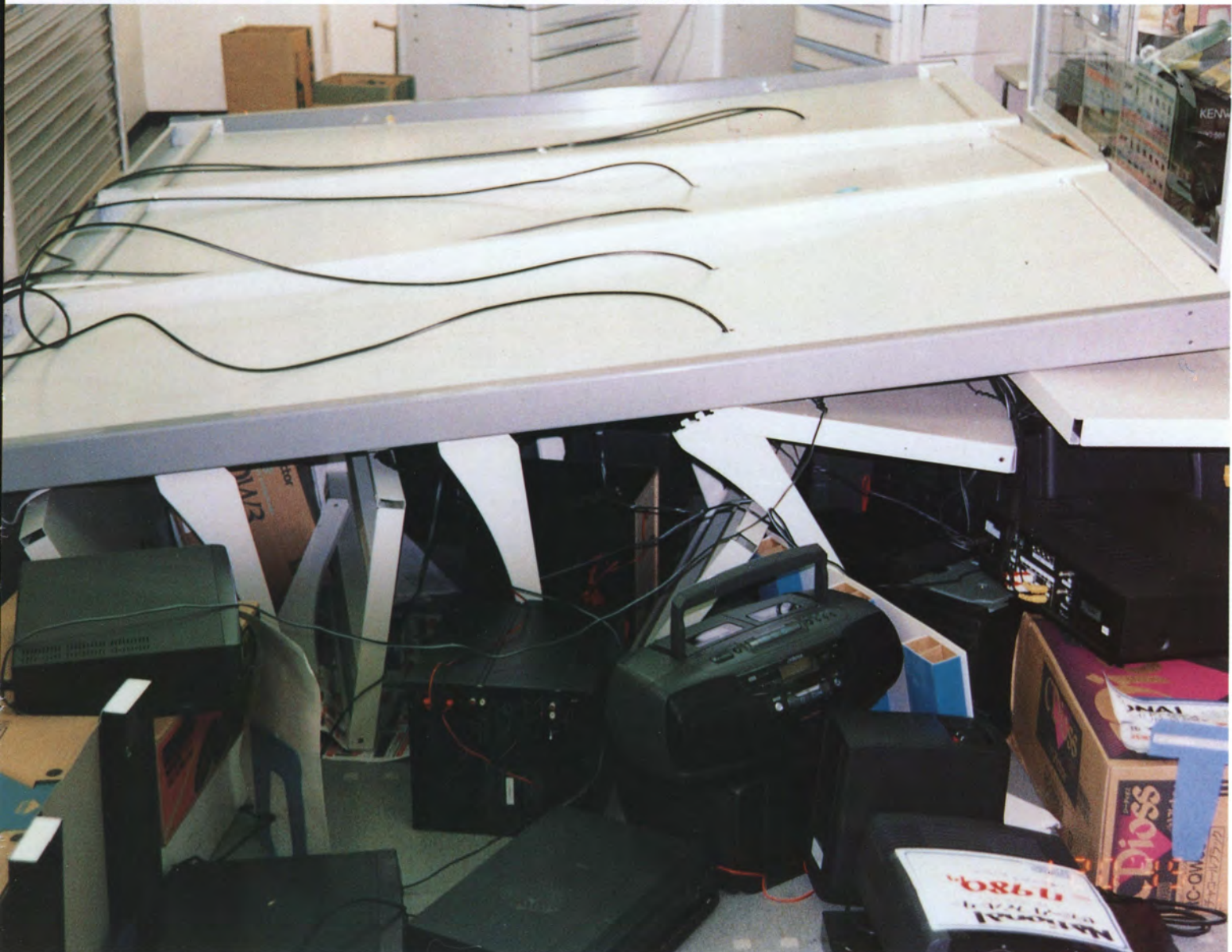
学友会館内部 文具棚



2号館北側の地割れ



9号館法学部研究室



学生会館内 散乱した電化製品

被災

視察



1月28日 与謝野文部大臣が被災状況視察のため来学



前略

先般の私の被災地状況調査に際しましては、未曾有の大被害と被災れその対策に忙殺されて居る中にも不あらず、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

区魁を状況の件で被災された方々の救助や教育活動の再開のため不眠不休の活動をしており、皆様の献身的なご努力に対し、深く感謝し敬意を表します。

私も村山内閣の一員として、また、教育行政の任にあつてもうとて皆様方に対し、支援助と今後の復旧対策に、断不届の努力を尽す所存とす。

一日も早い復興と教育活動の再開を心よりお祈りいたします。

草々

平成七年一月三十一日

文部省 文部次官 謝野 馨

甲南学園理事長

小川 守正 殿



2月22日 自民党衆参両院文教部会の議員一行が来学



被災

仮設校舎



建設中の仮設校舎



建設中の仮設校舎



事務室



建設中の仮設校舎



授業風景



学長室



完成した仮設校舎

再生

解体工事



岡本校地（平成7年12月22日撮影）



取り壊される1号館



取り壊される2号館



取り壊された1・2・3・5号館の跡地

再生

復興工事



平成7年10月16日 1・3号館 地鎮祭



平成7年10月16日 1・3号館 地鎮祭



平成8年4月30日 1・3号館工事進捗状況



平成8年8月31日 1・3号館工事進捗状況



復興計画案の前での卒業記念撮影



平成8年3月6日 基礎工事



平成9年1月27日 竣工間近の1・3号館

新学舎完成予定図



新2号館



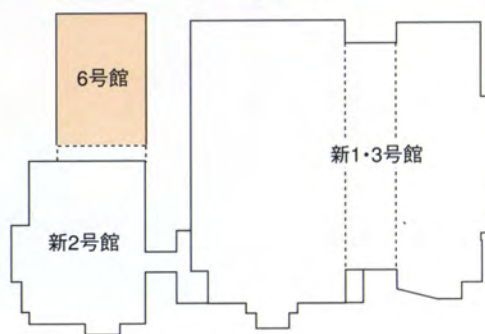
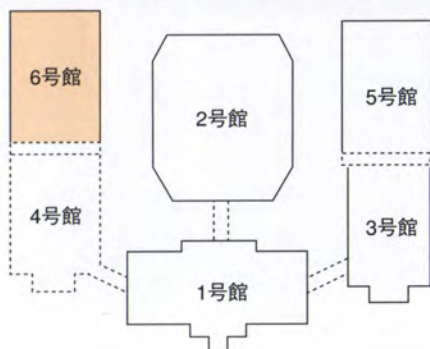
三本記念体育館

震災前後の学舎比較一覧

解体された学舎	建設した学舎	解体された学舎	新築復興される学舎
旧4号館=3階建 [震災前に取り壊し] (大正12年建) 延 1,338.82㎡ 事務室3、講義室11	2号館=地下1階、地上7階建 延 5,937.75㎡ 地下 複写センター 1階 講義室3、ロビー 2階 講義室4、ロビー 3階 コンピュータ実習室2 事務・ネットワーク監視室、ロビー 4階 コンピュータ実習室2 プログラム相談室、ロビー 5階 コンピュータ実習室2 研究室、ロビー 6階 講義室2、コンピュータ実習室2 人間科学科研究室2、ロビー 7階 人間科学科実習室、図書室 研究室6、ロビー	1号館=3階建 延 1,585.72㎡ (大正12年建) 2号館=地下1階、地上7階建 延 7,191.54㎡ (昭和39年建) 3号館=3階建 延 1,338.82㎡ (大正12年建) 5号館=4階建 延 2,305.38㎡ (昭和35年建) 計 延 12,421.46㎡ 理事長・学長室など7。事務室など 22。会議室2。講義室26。演習室 12。実習室など7。その他用務員室 など。 18号館=木造平屋 延 275.63㎡ (昭和50年取得)	1号館=4階建、3号館=7階建 延 14,570.18㎡ 1階 総務、財務、企画、募金室、庶務、 ツーレーヌ事務室、教務、学生各部 課室、学園史資料展示室など 医務室、応接室3、学生ホール 2階 理事長、本部長室、理事室、 学長室、副学長室、学長補佐室、 応接室会議室、大講義室、講義室 国際交流センター、屋上庭園 3階 大講義室、講義室、ラウンジ 4階 大講義室、講義室、ラウンジ、屋上庭園 5階 講義室 6階 演習室 教員・講師室など 7階 入試事務室、会議室

震災前

復興後



高等学校

SENIOR HIGH SCHOOL & JUNIOR HIGH SCHOOL

中学校



思い出



正門から見た1号館（左側）



創立者平生釵三郎胸像



正面玄関



文化祭当日の正面玄関付近



大グラウンドの東端



体育祭



大グラウンドから見た1号館

思い出



正門から見た2号館



甲友会館から見た2号館



高等学校普通教室



1号館南側



文化祭風景



1号館

被災

1号館



正面玄関



1階南側の柱



1階から見上げた階段



中学校普通教室



南側



屋上



事務室横印刷室

被災

2号館・3号館



2号館計算機研究室



3号館1階



1号館（右）と3号館の渡り廊下



2号館北側



2号館図書室内の柱



2号館国語研究室

被災

その他の施設



大グラウンドの地割れ部分①



大グラウンドの地割れ部分②



テニスコート南側



プール北東角



甲友会館1階食堂

被災

その他の施設



旧部室前



講堂西側



大グラウンドの観覧席



旧部室前



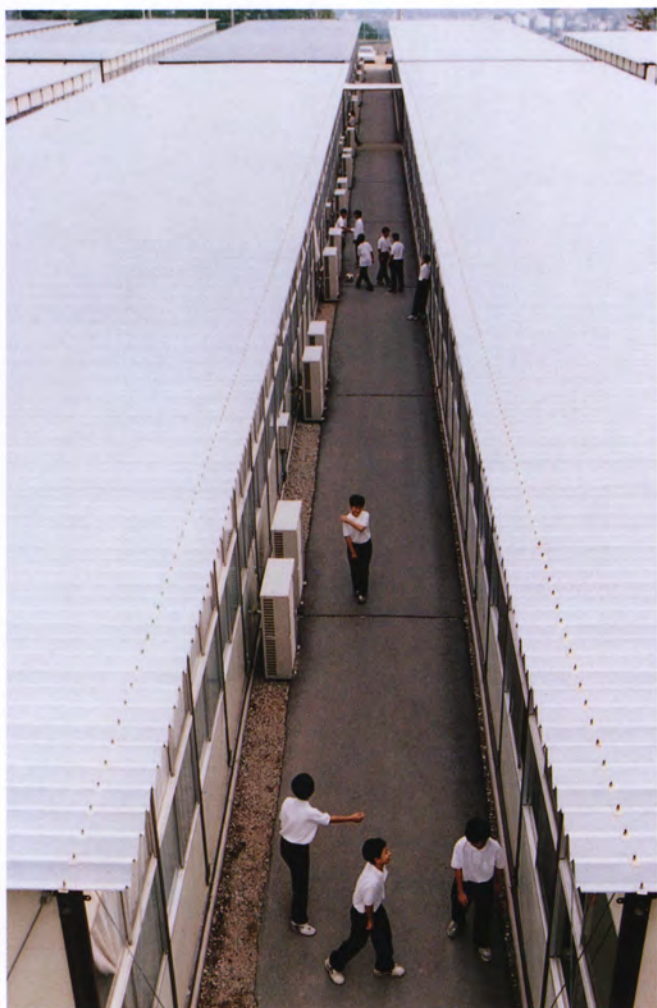
美術研究室



1号館西側の橋

被災

仮設校舎



仮設1号棟と2号棟



教員室



校長室



運動部室から見た仮設校舎



仮設校舎北側



仮設校舎西側



仮設3号棟の廊下



再生

解体工事

3号館



平成7年12月22日撮影



2号館北側



1号館



3号館渡り廊下

再生

復興工事



平成7年11月1日 新校舎地鎮祭



基礎工事



平成8年3月28日 工事進捗状況



平成8年4月6日 工事進捗状況



平成8年4月24日 工事進捗状況

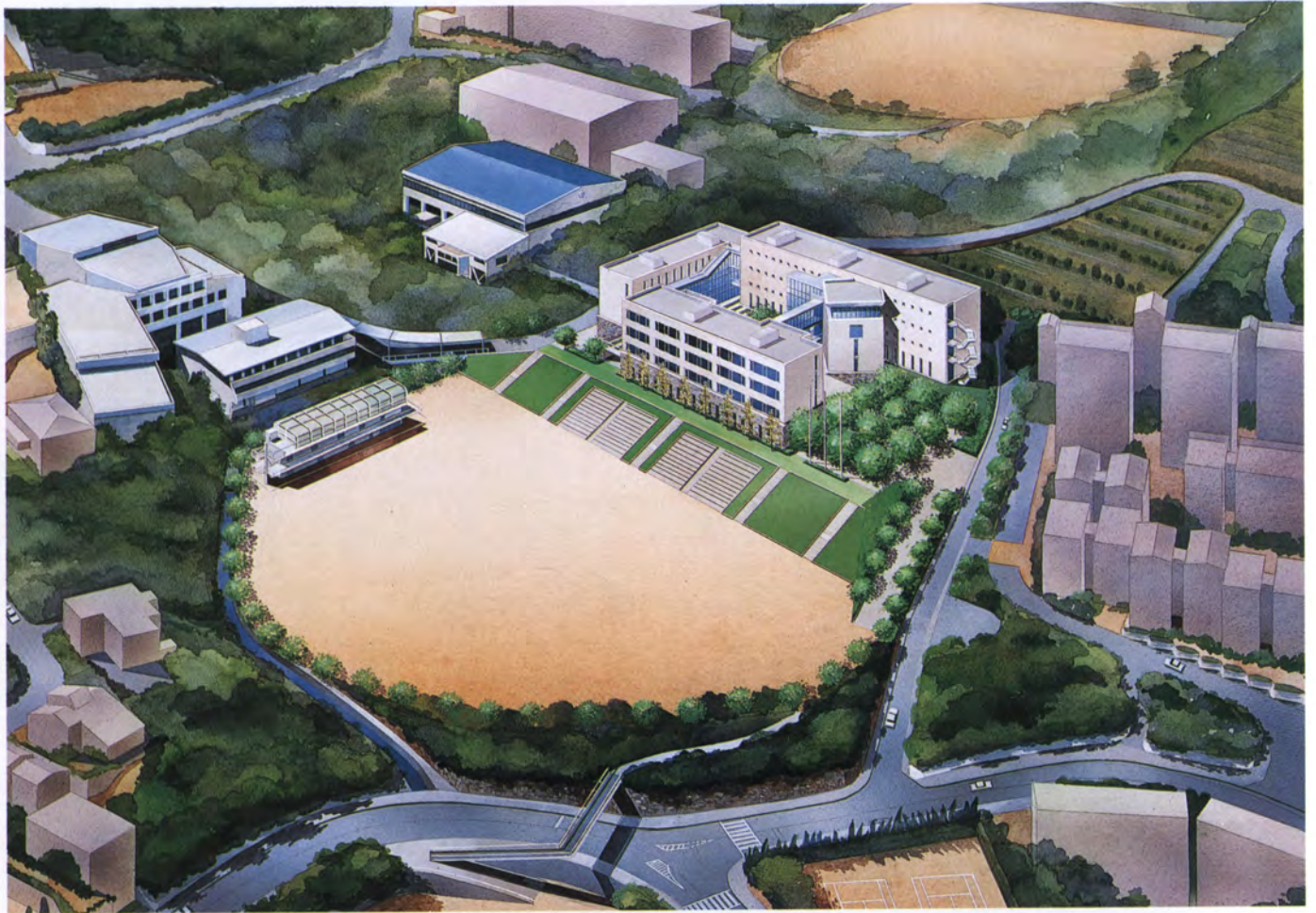


平成8年8月31日 工事進捗状況



平成9年1月27日 竣工間近の新校舎

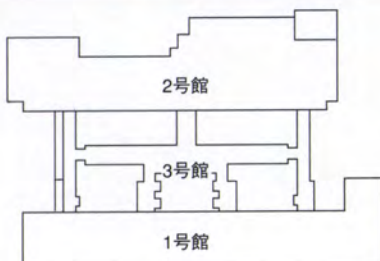
新校舎完成予定図



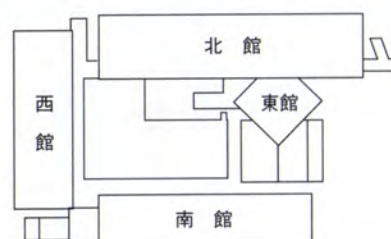
震災前後の校舎比較一覧

解体された高等学校・中学校舎	新築される高等学校・中学校舎
<p>1号館＝4階建 延 3,493.31㎡（昭和38年建） 校長室、教員室、事務室など18</p> <p>2号館＝4階建 延 3,751.82㎡（昭和39年建） 図書室、コンピュータ実習室、美術教室、視聴覚室、理科実験室など50、天体観測室</p> <p>3号館＝2階建 延 739.48㎡（同） 連絡通路、トイレなど</p> <p style="text-align: center;">計 延 7,984.61㎡</p>	<p>●新館＝5階建</p> <p style="text-align: center;">延 9,682.14㎡</p> <p>1階 校長室、教員室、事務室、など13、大会議室、大図書室 2階 教員室2、教室9、大教室、特別教室 3階 教室9、特別教室4、コンピュータ教室2、実験・研究室など5 4階 教室9、大特別教室、実験室など9 5階 LL教室など3、特別教室など8</p>

震災前



復興後



鎮

R E Q U I E M

魂



鎮 魂

甲南学園合同慰霊祭

平成7年4月15日午後1時

甲南大学講堂兼体育館



・恐れ入りますが、同封の葉書を四月五日(水)までに、ご返信ください。
 ・ご参列の際は、本表封筒を会場受付にお示しください。
 ・お問い合わせは、甲南学園総務部総務課にお願いたします。
 電話(078)431-1434

日 時 平成七年四月十五日(土) 午後一時から
 場 所 甲南大学講堂兼体育館
 (神戸市東灘区岡本八一九一)
 平成七年三月
 学校法人甲南学園理事長 小川 守 正
 甲 南 大 学 長 中 西 典 彦
 甲南高等学校・中学校長 井 野 辰 男
 殿

ご 家 内

謹啓 去る一月十七日未明、兵庫県南部地方を襲った地震により、本学園においては大学院生一名、大学生十五名、高校生一名、中学生一名、計十八名にも及ぶかけがえのない多数の尊い生命が無残にも奪われました。この悲惨な光景を目の当たりにし、誠に痛恨の極端えがたく、断腸の思いがいたしました。

突然の不幸で将来の夢を奪われた学生・生徒の無念さと、ご遺族の皆様方のご心情を拝察するとき、衷切の念に堪えないところであります。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、御霊をお慰め申し上げますとともに、本学園の教育・研究の復興を期し、甲南学園合同慰霊祭を左記のとおり執り行うことといたしました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、是非ともご臨席賜りますようお願い申し上げます。

敬 白



一、開式の辞

一、黙 禱

一、追 悼 の 辞

甲南大学長

甲南高等学校・中学校長

文 部 大 臣

兵 庫 県 知 事

神 戸 市 長

芦 屋 市 長

甲南大学父母の会会長

甲南高等学校・中学校
育友会会長

甲南学園同窓会代表

甲南大学自治会
中央委員会委員長

甲南高等学校
自治会委員長

中西典彦

井野辰男

与謝野 馨

貝原俊民

笹山幸俊

北村春江

野村和興

白 檉 達 也

衣 笠 茂

加 藤 久 善

稲 葉 智 治

田 中 亨

一、追悼電報披露

一、遺族代表挨拶

一、謝 辞

甲南学園理事長

一、学園歌・校歌斉唱

一、献 花

一、閉式の辞

小川守正

グリーンクラブ

兵庫県南部地震
甲南学園犠牲者



甲南学園犠牲者の方々

大学院生・学部学生・生徒

(学部・学年)

大学院・人文科学研究科
応用社会学専攻博士課程

中 高	經	法		理	文												
学 等	営	学		学	学												
校 校	学	部		部	部												
3 2	2 2	1 4		1 2	2 2												
年 年	年 年	年 年		年 年	年 年												

(氏 名)

松 林	植 田	兼 川	岡 小	赤 松	藤 本	宇 永	瀬 服	真 三	柳								
原 恭	木 裕	松 幹	尻 義	松 正	本 一	本 恵	野 伸	鍋 彰	枝 秀								
和 雄	宏 子	舞 夫	博 則	樹 人	大 美	学 子	保 夫	維 彰	樹 和								

(学部・卒業年度)

経営学部平成6年卒(新制高校39回卒)	法学部平成4年卒(新制高校38回卒)	理学部平成3年卒	理学部平成3年卒	理学部平成2年卒	文学部昭和63年卒	文学部昭和55年卒	文学部昭和50年卒	理学部昭和46年卒	理学部昭和46年卒	理学部昭和42年卒(新制高校13回卒)	経営学部昭和40年卒(新制高校11回卒)	経済学部昭和37年卒(新制高校8回卒)	経済学部昭和37年卒	経済学部昭和37年卒	新制高校1回卒	旧制高校25回理科卒	旧制中学3回卒
---------------------	--------------------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------------------	----------------------	---------------------	------------	------------	---------	------------	---------

(氏 名)

岸 白	河 野	橋 本	中 村	浅 野	豊 原	桑 井	豊 田	米 井	中 村	竹 原	白 羽	伊 藤	西 田	大 軒	藤 原	田 所	上 原
克 昌	昌 淳	佳 代子	利 恵子	修 志	真 利	めぐみ	久 仁子	伴 子	太 郎	正 記	靖 昌	篤 篤	実 実	昭 太郎	弘 行	順 順	増 雄

同窓生

地

O K A M O T O A S H I Y A

域



ボランティア

甲南大学では、4月までの3か月間に、学生ボランティアの活躍で、芦屋市・長田区への物資の補給作業、中学生への学習指導、沖縄レキオス行動隊への炊き出し補助などできる限りのボランティア活動に努めました。避難所を運営統括するボランティアを含めるとその数は、延べ4,500人になります。学生・院生16名の犠牲者を出し悲しみの大学キャンパスに、人間としての温かい心を感じました。



水を確保するボランティア学生



救援物資



学生会館ラウンジ



甲南大学へ避難された方々の寄せ書き



神戸市からの感謝状

避難者等への学校施設の開放について

- 9号館 1月17日～22日 6日間
(講演室、講師控室、教員談話室、職員休憩室、第5・6会議室、各廊下)
- 10号館 1月17日～2月5日 20日間
(1011・1012講義室、ロビー、廊下)
医療団体看護ボランティア 1名宿泊 運転手控室
(1月21日～2月4日 15日間)
- 小体育館 1月17日～3月5日 48日間
- 学生会館 1月18日～4月16日 89日間
(第1・2会議室、ラウンジ)
広島市市民病院医療団控室 第2会議室、宿直室
(1月28日～2月28日 32日間)
- グラウンド 1月17日～1月31日 15日間
- 講堂兼体育館 1月20日～4月16日 87日間
ロビー(救助物資倉庫として)
応接室(ボランティア本部、対策職員詰所として)
- 駐車場 1月21日～3月17日 56日間
警視庁特科車両隊(1月21日～1月28日)
機動隊後方部隊車両待機所として
- 六甲アイランド校地グラウンド 2月18日～4月27日 69日間
陸上自衛隊補給拠点及びヘリポートとして

岡本・芦屋周辺

甲南学園の創立者、平生鈇三郎先生（1866～1945）の言葉は、この阪神大震災という未曾有の災害にたいしてわれわれを力強く支えてくれました。「試練だ。焦るでないぞ」。多くの市民が行き場をなくし、安全な避難場所を求めて1月18日には1,200人の近隣住民の皆さんなどが甲南大学のキャンパスにいられました。

1月17日から4月16日の3ヶ月間に甲南大学に避難された方は、延べ1万5,000人になりました。1月末に約250人、2月末に約120人、3月末に60人の方がおられ、4月16日、最後の42人の方がこのキャンパスの避難所から、自宅やほかの避難所などに移られました。



(甲南大学写真部長 末野浩資さん撮影) 十二間道路のJRガード下



(末野浩資さん撮影) JR摂津本山駅



(末野浩資さん撮影) JR摂津本山駅南側



国道2号線沿い芦屋付近



西岡本の土砂崩れ

資
料



図書館の被災状況

1階 開架閲覧室

本体スチール製（側板・天板木装）書架16本が倒壊、書架は東西軸に南北方向に並列してあったが、図1のような倒壊状況であった（写真A）。南北方向の激震が波状に襲ったと見られる。書架はアンカーボルトで固定されていたが、一部を除きボルトが床から抜け、あるいはスチールとの接合部が引きちぎれるなどしていた。図書はすべて落下散乱。

新聞閲覧台は南側にすべて転倒したが、南北方向に設置されていた低層の雑誌架やカウンターは転倒を免れた。

オーディオコーナーの機器等も南北方向に置かれ、かつキャスターが付いていたため損傷なし。

書架の復旧にあたっては床固定の強化と併せて天板を4本の鋼材で連結し南北の振動に備えるとともに、書架の背に鋼板を貼り、東西の振動と図書の飛散をやわらげる措置を講じた。



A

2階

雑誌コーナーでは、東西方向3列の木製雑誌18本の内15本が倒壊した。複式の大型書架がコーナー中央の閲覧機に向かって南北から倒れ込み、その南側の単式書架6本は、倒れた複式書架の上に北向きに折り重なって倒れていた。これら複式書架は安定性があるということで固定されず、単式も簡単な床固定のみであった（写真C）。雑誌はすべて落下散乱していた。

参考図書コーナーでも複式低書架のすべてが北向きに折り重なるように転倒した。この一群の書架も床固定されていなかった。図書はすべて落下し、激しい上下動と南北動によるものか、書架は一面に散乱した図書の上に、床から浮いて転倒しているものが多かった（写真B）。

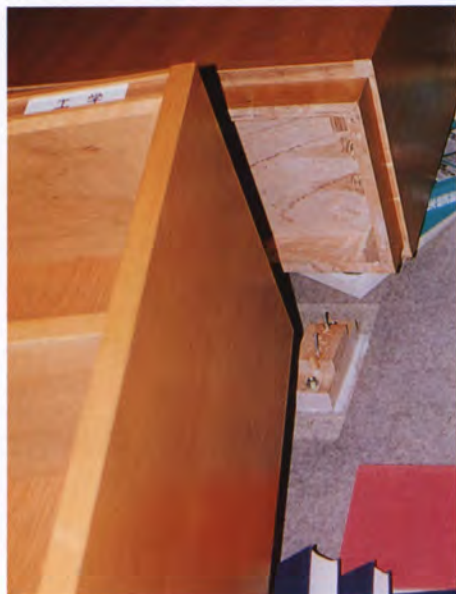
閲覧用カードボックスは9段一連複式の作りで南北方向に配列されていたため転倒を免れ、脚部の損傷が一部に生じたに止まった（写真D）。

事務室では東西方向に配列された3段重ねのカードボックスの上2段が、向かい合っかみ合うように倒れ重なっていたほか、スチール製の書架・キャビネットなどが転倒した。しかしキャスターの付いた机に置かれたパソコンをはじめとする備品、ブックトラックに乗せた図書などは被害を免れた。

復旧にあたっては、低書架を始めすべての木製書架を強固に床固定するとともに、連結できるものは連結した。スチール書架も天板の連結や壁への固定などの措置を講じた。



B



C



D



E

書庫（3・4階）

3、4階各々69列を上下に繋いだ積層式書架は、固定式のため、書架自体はほとんど損傷を受けなかった。しかし書架の配置が東西方向であったので南北の激しい揺れにより、ほぼ100%の図書が落下し、書架の間や通路を埋め尽くしていた。その揺れも北側の方が強かったためか、各書架上の図書は北側に多く落下しており、北側の壁に図書衝突による無数の擦過痕や陥没跡を留めていた。（写真F・G・I）

特に4階では階が高かったこと、大型の洋雑誌などが多かったために、多くのスチール製棚板が激しい揺れや図書の衝突で折れ曲がった。（写真H）



F



H

地階

資料室には安部文庫と整理中の製本雑誌をスチール製書架に配列していたが、すべての書架が倒壊し図書は落下散乱した。書架は東西軸と南北軸の2群あったが前者はすべて南に、後者はすべて西に向かって折り重なって転倒した。

視聴覚ホールでは大型スピーカーが南側に移動、準備室ではスチール製家具やオーディオ機器の一部が転倒していた。

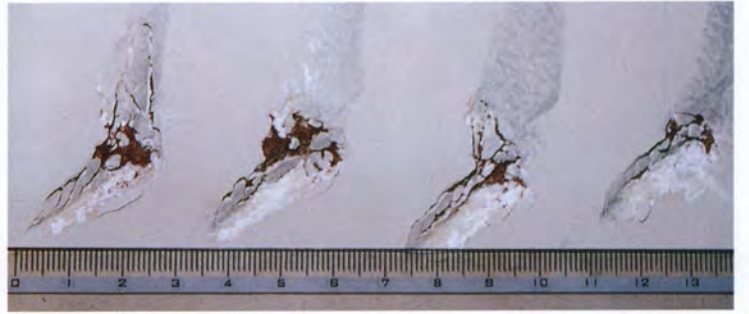
読書室及び第二閲覧室は机と椅子が置かれているのみで、目立った被害はなかったが、床面には大きなクラック（亀裂）が入った。（写真E）

その他

建物本体の構造にかかわる大きな被害は免れたが、屋上では防火のため施設された断熱プレキャストが転落したほか、各所に大小の亀裂が走った。また一部でガラス窓の破損、サッシ枠のゆがみ、水道配管の損傷などを生じた。



G



I

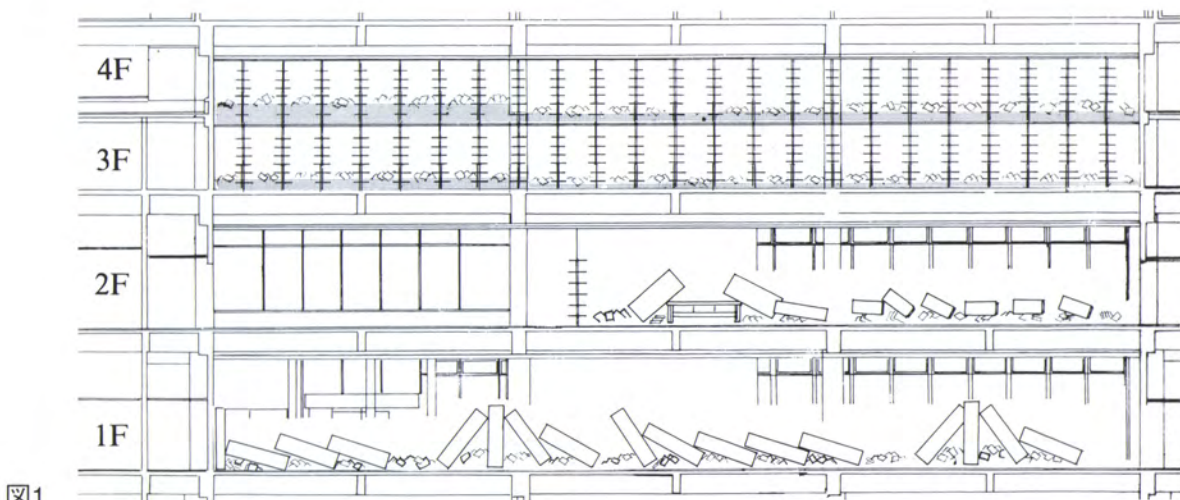


図1

報道各位

1月19日

甲南大学学務補佐室

お願い

下記について、受験生及び本学学生に
対して、報道により、お知らせ下さい。

1. (甲南大学入試実施本部より)

甲南大学入学試験の出願期日を
以下のように延長いたします。

銀行振込しめまつ：1月20日まで

出願願書：1月21日消印有効。
^{延長}

ただし、出願書類を大学へ持参する場合は、

(は、1月23日まで有効とします。

2. (甲南大学 教務部より)

甲南大学 学生各位、

後期試験(1月17日以後予定分)を
中止し、レポートに切り換えます。

レポートについては、速く、出来るだけ

速やかにダイレクトメールで(親元にも)

通知します。

以上

各国公私立大学長 殿

事務連絡
平成7年1月23日

文部省高等教育局大学課長

近藤 信司

兵庫県南部地震に伴う学生の修学等に係る措置について(依頼)

平成7年1月23日付け文高大第34号により通知しましたように、各大学におかれましては、今回の地震による被害の重大性に鑑み、特段の御配慮をお願いしたところで、

ついては、各大学におかれまして取られた措置(又は取られる予定の措置)について、別紙様式に御記入の上、2月20日(月)までに文部省高等教育局大学課大学改革推進室法規係までファックスにて御送付方お願いします。

なお、被災地にある大学につきましては、逐次連絡を取りたいと存じますので恐縮ですが御協力方宜しくお願いします。

[連絡先] 文部省高等教育局大学課大学改革推進室法規係 絹笠、西井

(住所) 〒100 東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

(FAX) 03-35592-1688

(電話) 03-3581-4211 (内線2493)

03-3581-0502 (夜間直通)

平成7年3月～5月 行事予定

日・曜	行 事	内 容	客
3月	○ 卒業認定発表	(15:00～)	
23(木)	○ 卒業証書・学位記授与式	(11:00～)	講 堂
28(火)	○ 健康診断(レントゲン) 男子 ○ 就職説明会(4年男子)	4年・大学院2年・(体育会希望学生) 別紙参照 文・営・理(10:00～11:20) 経・法(13:00～14:20)	
6(木)	○ 健康診断(レントゲン) 女子 ○ 就職説明会(4年女子)	4年・大学院2年・(体育会希望学生) 別紙参照 文・理・経(13:00～14:20) 法・営(13:00～14:20)	
7(金)	○ 健康診断(検尿)	4年・大学院2年	日時、場所等は掲示にて確認のこと
11(火)			
17(月)			
18(火)	○ 健康診断(内科検診) 男子	4年・大学院2年	時間、場所等は掲示にて確認のこと
19(水)	○ 健康診断(内科検診)	4年女子、体育会女子(9:00～11:30) 体育会男子(13:00～15:30)	
20(木)	○ 成績及び受講関係書類配布 ○ 学生証交付 ○ 奨学金制度説明会 ○ 教育実習本登録説明会 ○ 教育実習準備説明会	2・3・4年次 大学院(9:00～16:00) 2・3・4年次、大学院(9:00～16:00) 2・3・4年次(13:00～14:00) 4年次(10:00～10:50) 3年次(11:00～11:30)	
21(金)	○ 学園創立記念日		
24(月)	○ 入学式 ○ 始業式 ○ 入学式後 ○ 新入学生生活指導、就職部ガイダンス ○ 新入生受講指導	(10:00～) (11:00～12:00) (11:00～12:00)後 経・法・営(13:00～14:20) 文・理(14:30～15:50)	講 堂
25(火)			
26(水)	○ 奨学金制度説明会 ○ 免許資格ガイダンス (教免・司書・司書教諭・日本語教員) ○ 条件作文・英会話予備登録 ○ 文字部2・3・4年次受講指導 ○ フォトリソグラフィックス ○ 基礎生物字実験・地字実験 受講希望者(10:00～10:30) ○ 理字部2・3・4年次受講指導 ○ 中国英語予備登録 ○ 情報処理ガイダンス ○ 「経済データベース」ガイダンス ○ OCA(47・48・49・50・51)ガイダンス	1年次(10:00～11:30) 1年次(14:00～15:00) 文(英語英文文学科)2～4年次(14:30～15:30) 文(英語英文文学科)1年次(15:30～16:30) 文(英語英文文学科以外)・理・経済・法・経営(17:00～) 文2(10:00～11:30) 文3・4(13:00～14:30) 理2 フォトリソグラフィックス 理2 基礎生物字実験・地字実験 受講希望者(10:00～10:30) 理2・4(10:30～12:00) 理3・4(13:00～14:30) 経済・法・経営(10:00～17:00) 理2～4年次の情報処理受講希望者(15:30～) 理2～4年次の情報処理受講希望者(15:30～) 理2～4年次の情報処理受講希望者(15:30～) 理2～4年次の情報処理受講希望者(15:30～) 理2～4年次の情報処理受講希望者(15:30～) 理2～4年次の情報処理受講希望者(15:30～) 理2～4年次の情報処理受講希望者(15:30～) 理2～4年次の情報処理受講希望者(15:30～) 理2～4年次の情報処理受講希望者(15:30～) 理2～4年次の情報処理受講希望者(15:30～)	
27(木)	○ 新入生指導主任との懇談会 ○ 情報処理入門申込み締切 ○ 理字部実験・教育実習申込み提出締切 ○ 理字部他字科科目履修許可願提出締切	1年次(10:30～) 1年次(15:00～) 1年次(15:00～)	(教務部) (教務部)
28(金)	○ 平成7年度講義開始 ○ 教育実習本登録・予備登録提出締切	15:00 まで	(教務部)
8(月)	○ 受講証受付	(9:30～16:00)	(体育館ロビー)
15(月)	○ 学生別時間割配布、訂正	(12:30～16:00)	配布(体育館ロビー) 訂正(教務部)
16(火)	○ 学生別時間割配布、訂正	(9:30～16:00)	配布(体育館ロビー) 訂正(教務部)

★ 場所等については掲示にてお知らせします。

平成7年度3月～5月 大 学 行 事 予 定

平成7年2月9日

甲南大学在学生の皆さまへ

甲南大学長 中西典彦

このたびの阪神大震災は、ここ神戸の地に思いもかけぬ甚大な被害をもたらしました。本学学部・大学院在学生16名(学部生15名、院生1名)も帰らぬ人となってしまいました。まことに悼ましい限りで、悔やんでも悔やみきれません。皆さまのなかにも家族や家が被害を蒙った人も多くはないかと深く案じています。本学もまた地震の直撃を受け、1・2・3・5・18号館の講義室と事務室が使用不可能となり、いずれも取り壊して建てかえざるを得ない状況です。実に講義室座席数の半分以上を失うことになりました。しかしながら、すでに運動場敷地に仮設の校舎の建設が始まり、その半分はすでに建ちあがり、2月いっぱいには全体が完成します。これで4月からの講義室は確保できる見通しがつきました。皆さまが今後学業をつづけていく環境は概ね整えることができそうです。いくつかの点で十分とはいえぬところもありますが、皆さまの学業への強い意欲でしめていただけたらと期待しています。また、皆さまの意欲に応えるべく教職員一同強い情熱をもってあたる所存です。この3月に卒業する予定の現4年次生の皆さまは、今回の震災の体験をバネに実社会で奮闘努力されるよう心より折念しております。

同封した書類は、皆さまの学生生活にとって重要な事柄ばかりです。よく読んで万事遣漏のないようお願いいたします。以下に書類の内訳を記します。

1. 父母・保護者の皆さまへの挨拶状(必ず親・保護者に読んでもらうこと)
2. 現4年次生への3月卒業までの日程
3. 新2・3・4年次生への平成7年度の行事予定(成績表配付日などを示す)
4. 新2・3・4年次生への4・5月の行事予定(からのお知らせと卒業式の日程)
5. 学生部、医務室、図書館、電算センターからのお知らせ(新2・3年次生には同封されていません)
6. 新4年次生への就職部からののお知らせ(新2・3年次生には同封されていません)

以上

甲南大学在学生の皆さまへ「挨拶文」

父母・保護者の皆様へ

平成7年2月9日

理事長 小川守正
学長 中西典彦

日頃は大学の運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、この度の阪神大震災で本学在大学生や大学院生のご家族のなかにも甚だしい被害を蒙られた方々も多いことと存じ、心よりお見舞い申し上げます。本学では16名の若い命が本震災の犠牲となり、まことに痛恨の極みであります。残されたご遺族の方々には衷心よりお悔やみ申し上げます。

東灘区に位置する本学の建物も相当に被害を受けました。管理棟(1, 3号館)と講義棟(2, 5, 18号館)はすべて使用不能となり、これらを取り壊して新しく建築せねばなりません。現在すでに仮学舎をグラウンドに建設中で、これらを2月中に完成させ、4月からの講義には十分間に合う体制しております。また修復を要する実験室やゼミ室なども、学生の皆さんに不便をかけるまいよう可能な限りの措置をしております。

すでに新聞紙上でお知らせしましたように、在学生の皆さんには後期試験に代わるレポートを提出するよう通知を保護者住所あてに発送いたしました。特に4年次生の皆さんについては、ゼミ担当や指導主任教員の協力も得て、大学として責任を持って卒業認定を行わねばなりません。最終卒業資格の認定を終えて3月28日には卒業式を挙げる予定です。父母・保護者の方々にはこの点に留意され、問い合わせ事項などがあれば至急教務部に連絡して下さるようお願いいたします。

今回の震災で大学の受けた被害は決して小さいものではありません。しかし私たち教職員一同は協力してキャンパスの復興・再建に立ち上がり、大学の社会的責任を果たすべく努力する覚悟しております。当面の課題は、来るべき2月下旬からの入学試験を実施すること(幸い神戸学院大学、関西大学様のご協力を頂き、本学会場を3会場に分散して実施することになりました。)3月下旬の卒業式までに卒業生のための教学上の手続きを完了すること、さらに在学生のため、4月以降の授業日程を混乱なく実行することなどであります。なお本学園では被災された学生に対して、授業料の減免などをとおしての財政的援助を現在鋭意検討しております。今後2年あるいは3年後には新しい講義棟の建ち並んでいる見違えるようなキャンパス風景を夢に描きつつ、全教職員、在学生一同が共に心を合わせて歩んで行きたいと願っております。

父母・保護者の皆様には、ここに述べました本学の方針をご理解いただき、暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

受験生および保護者の皆さんへ

1995.2.3

甲南中学校

この度の阪神大震災で被災された皆様は心よりお見舞いを申し上げます。本校の校舎や交通機関も大きな被害を受けましたので、入学試験の日程や試験場を次のように変更いたします。

入試期日 3月1日(水)、2日(木)
入試日程

	10:35~11:25	12:30~13:20	13:40~14:30
3月1日(水)	国 語	昼 食	算 数 理 科
3月2日(木)	算 数	昼 食	国 語

試験場

- 第1試験場…甲南大学本校舎 (神戸市東灘区岡本8丁目9番1号)
JR本山駅下車、徒歩15分 ☎078-435-2462(室のみ)
阪神電車青木駅下車、徒歩30分
- 第2試験場…明石南高校 (明石市明南町3丁目2番1号)
JR西明石駅下車、徒歩10分 ☎078-925-2353(室のみ)

集合 受験生は3月1日、3月2日の午前10時15分までにそれぞれの試験場へ集合し、係員の指示を受けてください。(交通事情を考慮して、遅刻しないようにすること。弁当、湯茶を持参すること。第2試験場の受験生および保護者は必ず上履きを用意すること。)

第1試験場、第2試験場ともに駐車場がありませんので、車の利用はご遠慮ください。

◎上記のように第1試験場と第2試験場を設置しますので、どちらの試験場で受験するか、同封の葉書に記入し2月10日までに投函してください。
入学試験当日は、葉書に記入した試験場に集合してください。

合格発表 3月4日午後1時頃、甲南大学本校舎で行います。

なお、事前のお問い合わせは、甲南中学(☎0797-31-0551)へお願いいたします。

(受験票にお貼りいただいた切手は、この文書を送るために利用させていただきました。そのため、受験票が汚れているかもしれません。また、本校で作りました受験票もあります。ご了承ください。)

甲南中学、甲南高校の生徒諸君へ

1995.2.3

甲南中学・高校 教務課

この度の阪神大震災で被災した諸君とご家族の皆様に対して心からお見舞いを申し上げます。

残念ながら生徒諸君の中からも高二の林恭宏君と中三の松原和雄君が尊い命を失い、さらに保護者の方お二人が犠牲となりました。謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。

諸君が身をもって体験したこの度の大震災は、この阪神地域に誰ひとり予想もしなかったような大災害をもたらしましたが、おそらく諸君にとって生涯忘れることのできない歴史的な体験となることと思います。

学校の方も校舎のほとんどが使用できないという深刻な被害を受けており、当分の間は授業を再開できる目処が立っておりません。そこで諸君には、地震の日以来ずっと自宅学習を続けてもらっている訳ですが、本日、各科目毎の課題をプリントにして渡します。これからはこの課題を中心に勉強を続けてください。そして、3月6日の登校日にはこれらの課題を提出してもらい、これをもとに三学期の成績を評価し、及落判定会議（3月15日）の資料とします。きちんと課題をやり遂げるようにしてほしいと思います。

諸君にとって大切な学習と生活の場である学校に登校してもらえないという現状は、極めて残念な事態でありますが、諸君の中の少なからぬ人達が種々の困難の中で頑張っています（家屋が倒壊して避難所で暮らしている人や全国各地に「疎開」している人達もいます）ので、甲南生全員がそれぞれの条件のなかで精一杯の努力をしてほしいと思います。自宅で勉強していい質問したいことがあれば遠慮なく担当の先生に電話や手紙で質問してください。先生方もこころよく質問に応じてくださるはずですので。むしろ、これを機に生徒諸君と先生方との文通や電話によるコミュニケーションが深まることを期待しています。そして、この度の助け合いや全国、全世界から寄せられた支援の広がりを目の当たりにしたことで、さらには諸君自身がボランティアとして活動したことなどを通じて諸君が精神的に大きく成長してくれると同時に、日々勉強することも忘れぬようにしてほしいと願っています。

大人の人達はこれから復旧に向けて歯を食いしばっての懸命の努力が始まります。学校の方も、3月中旬には仮校舎が建設されるはずですが、諸君も授業が再開される時まで友達と励ましあい、自宅で真剣に勉強に取り組みんでください。

甲南中学・甲南高校の生徒諸君へ「通知文」

「授業の再開」に向けて…生徒諸君へ

1995.2.17

甲南中学・高校教務課

大震災以後ちょうど一月が経過したが、残念ながら本校では今も授業を再開できずにいる。その最大の理由は言うまでもなく、本校の校舎が大きな被害をうけ、教室への立ち入りを禁止されているからである。そのため当分の間は、各教科から出された課題を中心に自宅学習を続けるよう指示したが、多くの人は各自で学習ではあきたらず、やはり学校で勉強したいと思っていることであろう。そこで、本校でもできるだけ諸君に登校してもらって「授業の再開」に向けて一歩を踏み出すことにした。

具体的には、2月20日（月）から、教室として唯一残っている音楽教室2、美術教室2の4教室を利用して一学年毎、午前と午後の2部形式で、それぞれ2時間程度の授業を行う。授業は、別紙「臨時時間割表」にもとづいて、30分授業5分休憩の4コマで行い、授業終了後は「終礼」も実施する。なお、このような方式では教室の都合で全学年の授業を毎日行うことはできないので、授業のない日は体育や映画鑑賞、講演等を予定している。特に体育については、「地震以来運動不足で、心身がなまって来ている」という人達も少なくはないはずで、久しぶりに思いっきり体を動かすきりした気分になってほしいと思う。映画の方も、諸君に楽しんでもらえる名画を目下検討中なので期待しておいてほしい。また、講師は、山内先生に専門家立場で「地震の話」を、また世界中を旅行している南里先生にはスライドをつかって取って置きの話をしてもらう予定である。

2月20日からの「授業」は、特別の事情で登校できない人以外は全員が出席すること。（出席できないときは、必ず担任に連絡すること。また、登校にあたっては交通の混乱した地域もあるので、安全には十分気をつけること。）科目によっては正式の授業として新しい学習内容に入る場合もあるから、気持ちを引き締め「授業」に臨んでほしい。

なお、2月28日（火）からは高校と中学の入学試験の関係で授業は行わない。諸君にとっては、3月6日の課題提出日直前の1週間に当たる訳で、課題をやり遂げるために有効に活用してほしい。（先に通達したように、課題は3学期の成績として評価する。）

最後に、震災によって欠けた授業時間については、グラウンドに仮設校舎が建設される3月中旬から4月初旬にかけて補充授業を行う予定である。また、夏休みにも補充授業を予定している。

震災から1カ月、街も人も復旧・復興に向けてようやく立ち上がり始めている。本校でも、教職員と生徒諸君が力を合わせて学校の再建に立ち上がりなければならない。諸君が逆境の中でも勉強やクラブで持てる力を精一杯発揮してくれること、学校の再建にとってこれに優るものはないように思う。ともにしっっかり頑張ろう！

甲南中学・甲南高等学校の生徒諸君へ「授業の再開に向けて」

1994年度 第三学期臨時予定表 (震災による改正)

3 月		4 月	
午 前	午 後		
水 1 中学入試 (大学・明石南高校)・備前子弟別枠入試			
水 2 中学入試 (大学・明石南高校)			
金 3 中学入試			
土 4	中学合格発表13:00 (大学)	1	
日 5		2	
月 6 課題提出 (高校10:00)	課題提出 (中学13:00)	3	
火 7 仮校舎一部移転	高三卒業式予行演習	4	補充短編授業
水 8 高校卒業式 開式10:30 高二集合10:15	中2、中3授業、中1体育	5	
水 9 高一、高二授業	中1、中3授業、中2体育	6	
金 10 高一、高二授業		7	
土 11 成績記入		8	中学入学式 (13:00)
日 12		9	
月 13 中学手紙書き 新入生説明会		10	始業式
火 14 高校二次入試 面接・発表		11	
水 15 評定会議		12	
水 16 中1、中2授業、中3体育	高二授業、高一体育	13	
金 17 中1、中2授業	中3、高一授業、高二体育	14	
土 18 高校卒業式10:00、中学卒業式13:00		15	
日 19		16	
月 20		17	合同開講祭 (大学講堂11:00~12:00)
火 21	暮 分 の 日	18	
水 22	春 休 み	19	
水 23		20	
金 24		21	創立記念日
土 25		22	
日 26		23	
月 27		24	
火 28	補充短編授業	25	
水 29		26	
水 30		27	
金 31		28	
土	春スキー中止	29	みどりの日
日		30	

注：3月6日の課題提出の場所は、当日西門に掲示します。
 3月9、10、16、17日の授業は、2月最後の2週間時間帯 (10:00~12:15、13:00~15:15) で行います。
 授業時間割は、3月6日の課題提出の際にプリントで配布します。
 なお、3月25日~4月7日の補充短編授業の詳細については、後日発表します。
 4月以降の予定は新年度に配布します。

在学生 及び

学費負担者の皆様へ

甲南学園理事長 小川 守正
 甲南大学長 中西 典彦

阪神大震災で被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

甲南大学は、開学以来、東灘区岡本の地で発展してまいりましたが、それ
 もひととに甲南大学を愛しご支援を惜しまれなかつた皆様方のおかげである
 と、関係者一同、常日頃より感謝致しております。

さて、このたびの大震災の直撃を受け、多大の被害を蒙ったのは、まさ
 に甲南大学の、いわば地元地域の地域であります。甲南大学で学んでいる多く
 の有為の学生が、この突然の不慮の災害によって教育の機会を奪われる事
 態を甲南大学として度視することはできません。

この趣旨にもとづき、甲南大学は震災により家屋を失うなど家計に甚大
 な被害を受けた在籍生に対して、1995年度の授業料の半額(前期授業料
 納付額)を減免することに致します。

また、下宿学生につきましては、下宿先が全壊または半壊などとして居住
 が不可能となり、転居を余儀なくされた学生に対して見舞金5万円を支給
 致します。該当者は、別紙の要領を必要書類を整えて申請手続を行って
 ください。

在校生の皆さんへ

授業料減免申請の手続きについて

授業料減免対象

阪神大震災の被災地に住民登録・外国人登録を有し、今回の「り災」により、学費負担者の住家の全壊・半壊の被害および学費負担者の死亡の被害を受けた在校生

減免金額

初年度（平成7年度）授業料の半額（前期授業料納付額）

文・経済・法・経営学部・・・348,000円

理学部・・・511,000円

人文・社会科学研究科・・・前期授業料納付額

自然科学研究科・・・前期授業料納付額

必要書類

・阪神大震災の「り災」による授業料減免申請書（同封）

・り災証明書（市・町・村・区役所発行のもの）

（注意）自治体によっては「被災者証明書」等の名称で発行しているところもあるので、必ず、自治体申請窓口で「学費減免申請に使用する」旨を申し出てから、該当の証明書の交付を受けてください。

学費負担者の「り災」による死亡については、埋火葬許可書、死亡診断書、住民票除票のうち、いずれか1通

・学生証（提示してください）

申請受付期間

平成7年4月13日（木）～4月20日（木）・・・・・・午前10時～午後5時
4月15日（土）・・・・・・午前10時～午後1時

申請書類受付場所

甲南大学グラウンド内の経理課阪設事務所

甲南大学長 殿

フリガナ

学費負担者

合格者との続柄

平成7年 月 日

印

阪神大震災の「り災」による

授業料減免申請書

私備、貴大学の平成7年度前期授業料減免を「り災証明書」を添えて、下記のとおり申請いたします。

記

フリガナ

1. 在学者氏名： _____

2. 所属学部： _____ 学部 _____ 年次 学籍番号 _____

所属研究科・専攻： _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 年次 学籍番号 _____
（大学院生）

3. 学費負担者の住家の被災時の住所／電話番号： 〒 _____ TEL _____

4. 学費負担者の住家の現住所／電話番号： _____ TEL _____
（大学から送付する郵便物が確実に受け取れる住所／電話番号であること）

甲南大学在校生へ「授業料減免申請の手続きについて」

甲南大学在校生へ「阪神大震災のり災による授業料減免申請書」

り災証明書

小15-B-2

※り災証明書の再発行はいたしかねますので 原本は大切に保管してください。

◎太わく部分をご記入ください。

申請者	住所 (現在の連絡先を記載してください。) ☎ (078) 431-4341
氏名 (の裏名と同じ組合員登録名です。) 明・大・昭・平	神戸市東灘区東本8丁目1番1号
フリガナ	高枝次人 甲南学園 理事 長 小川 守正
り災者氏名	高枝次人 甲南学園 理事 長 小川 守正
り災場所等	神戸市 東灘区 町通 東本8丁目1番1号

持家 住宅
 借家 (り災家以外の所有者を記載してください。) 住宅
 借家 (5割以上) 借家 (2割未満) 借家 (2割未満) (2割未満)

り災程度 全壊 (5割以上) 半壊 (2割未満) 一部破損 (2割未満)

兵庫県南部地震に伴い生じた「り災」の状況は
上記のとおり相違ないことを証明します。

平成 7 年 2 月 23 日

神戸市 東灘区 長



(別紙2)

り災証明書

申請者は、太枠の中のみご記入ください。

住所	芦屋市 山手 町 3 番 3 号			必要枚数	枚
続柄	氏名	性別	生年月日	備考	
1 世帯主	井野 辰男		MTSH . .	甲南学園 1名棟 (南館)	
2			MTSH . .		
3			MTSH . .		
4			MTSH . .		
5			MTSH . .		
6			MTSH . .		
7			MTSH . .		
り災事項	災害の原因 兵庫県南部地震 り災状況 <input type="checkbox"/> 死亡 <input checked="" type="checkbox"/> 家屋の全壊 <input type="checkbox"/> 家屋の半壊 <input type="checkbox"/> 家屋の一部損壊 り災年月日 平成 7 年 1 月 17 日 り災場所 <input checked="" type="checkbox"/> 上記住所と同じ <input type="checkbox"/> 別の場所 (市)				

上記のとおり証明します。

平成 7 年 3 月 22 日

芦屋市長 北村



阪神・淡路大震災による被害復旧費内訳表

(単位 千円)

項目	大 学 ・ 本 部		高 等 学 校 ・ 中 学 校		合 計	
1. 施設新築	1・3号館 古川住宅	3,605,000 29,267	1・2号館	1,993,000		
計		3,634,267	1,993,000		5,627,267	
2. 施設補修	6号館 7号館 8号館 9号館 10号館 11号館 12号館 13号館 14号館 15号館 16号館 17号館 図書館	9,785 148,320 5,644 7,056 83,842 28,840 33,691 5,356 7,961 14,135 1,940 350 25,153	情報教育研究センター 講堂兼体育館 西校舎煙突 学生会館 学生会館 文化部室 運動部室 六甲アイランド体育館 広野合宿所 平生記念館 学生相談室 教職員クラブ 庄屋住宅	245 133,239 3,708 11,845 3,420 1,421 2,657 3,515 13,699 1,638 3,296 3,605 15,450	体育館 講堂 甲友会館 運動部室	2,431 15,841 3,311 2,616
計		569,811		24,199	594,010	
3. 土地・ 工作物	(グラウンド) 東側擁壁復旧 スタンド・撤去照明移設 西側スタンド復旧 南側石積復旧 北側フェンス復旧 南側側溝復旧 ゴールポスト復旧 雨水排水工事 板打復旧	12,154 17,407 7,578 1,418 3,090 680 1,184 968 462	(その他) 2号館西外溝復旧 10号館給水管補修 18号館石垣復旧 情報教育研究センター復旧 図書館前壁補修 平生記念館復旧 平生記念館石垣復旧 校舎解体植木移植 キャンパス各所石積復旧	4,980 478 8,024 258 175 1,657 1,617 1,236 258	(グラウンド) 擁壁復旧 外溝ブロック復旧 (その他) プール復旧	1,898 644 10,063
計		63,624		12,605	76,229	
4. 機械設備 等	教育用AV機器 机・椅子等固定家具 机・椅子等可動家具	370,800 126,587 98,592	教室カーテン・ブラインド 図書買い換え 機器破損買い換え	46,350 1,124 173,996	AV機器リース代 教室家具類 機器破損買い換え	20,000 120,000 10,327
計		817,449		150,327	967,776	
5. 解体費	1. 2. 3. 5. 18号館 18号館(2次分) 古川住宅	425,349 5,047 1,957	2号館オイル抜き取り	670	1. 2. 3号館	335,543
計		433,023			335,543	768,566
6. 仮設校舎	設置工事費 仮設トイレ増設 構内舗装 仮設リース料	722,017 2,369 1,600 158,438	仮設解体跡復旧	152,690	設置工事費 弓道場仮設工事 仮設リース料 仮設解体跡復旧	367,730 684 122,620 95,739
計		1,037,114		586,773	1,623,887	
合 計		6,555,288		3,102,447	9,657,735	

学校法人甲南学園の震災復興募金 へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、甲南大学、甲南高等学校・甲南中学校を擁する学校法人甲南学園は、阪神・淡路大震災の最激震地にあつて、尊い18名の若い命を失ったのみならず、学園全体の65%を占める2万平方メートルの教室が、突然、一瞬にして崩壊し、一部には火災も発生するなどにより甚大な被害を被ったところであります。

この震災の被害を受けた教室など建物の復旧には約90億円に及ぶという、一私学にとりましては、まことに巨額の資金が必要とされるため、その資金の一部に充当すべく、このほど20億円の震災復興募金の運動が開始され、是非経済界からの協力を得たい旨の依頼がありました。

学校法人甲南学園は、70有余年の伝統を有する私学として、数多くの逸材を世に送り出してこられ、また先般の震災の直後からその多数の関係者の方が被災地の復旧・復興に貢献されてきたことは、広くマスコミ等でも報道されました。我々といましては、この甲南学園の一日も早い復興にご協力申し上げ、そして同学園が21世紀を担う有為の人材の育成に大きく寄与されることを期待したいと存じます。

つきましては、諸事ご多端の折り柄まことに恐縮に存じますが、何とぞ趣旨にご賛同の上、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

震災寄付金申込書

平成 年 月 日

学校法人 甲南学園
理事長 小川守正 殿

寄付申込者の名称
又は氏名
法人の場合は
代表者名を記入 (印)

フリガナ
代表者名

⑦
ご住所

電話番号

甲南学園の震災復興募金に充てるため下記のとおり寄付を申し込みます。

記

1. 寄付申込金額

千円									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. 寄付金払込予定月

平成 年 月

復興事業の概要

■大学校舎

仮称新1号館(旧1・2号館)及び仮称新3号館(旧3・5館)
約14,570㎡(予定)

学園本部・会議室・事務部局・大・中・小議義室…等

■高等学校・中学校舎

仮称高校棟、中学棟、特別教室棟

約9,576㎡(予定)

高中本部・事務局・普通教室・特別教室・図書室…等

募集要項

■募集目標額

20億円(法人10億円、個人10億円)

■募集期間

平成7年11月～平成10年6月30日

■1口金額

法人 個々に別途 ご依頼します。

■申込払込方法

事務手続きき申込用紙に所要事項をご記入いただきご返送ください。また、同封の
払込み用紙にてお払込み下さい。

(なお、払込用紙に記載の銀行の本・支店間をご利用の場合、手数料は不要です。)

寄付金に対する減免税措置について

■法人の場合

法人の寄付金は、法人税法第37条第3項第2号に基づき寄付金の金額全額が、当該
事業年度の法人所得の計算上、損金に算入できます。

免税手続きには文部省の承認印の押捺された「寄付受領書」が必要となります。
これに関する文部省への手続きは甲南学園がすべて行います。

甲南学園震災復興募金発起人

秋芦 阿井 伊乾 猪入 岩上 上上 上上 宇梅 穎衣 岡岡 岡奥 織海 梶壑 嘉川 川菊 黒小 小小

山原 植藤 原江 井島 田村 山野 田川 斐林 崎崎 田谷 田保 木畑 納勝 島池 田西 西林

喜義 泰助 英一 敏達 元多 英善 徳孝 芳藤 真純 禮敏 雅直 毅堅 順嘉 章新 康一

久重 久敏 成文 雄夫 靖司 彦子 介収 司助 雄郎 雄雄 直子 次孝 夫尚 人二 吉人 裕博 雅

小小 小小 小香 河古 近合 佐酒 産塩 塩芝 下正 白鈴 住銭 高高 田武 竹辰 辰立 王津 中永

林林 林森 西野 月藤 田伯 井本 野野 川邨 司壑 木友 高石 木口 田中 馬馬 野井 山西 井

公林 幹昭 俊基 耕尚 俊真 太芳 又昭 泰達 恭義 一 二 圭國 統章 寛純 新直 香瀾 太郎

平宏 助男 夫泰 二彦 徹平 孝一作 郎彦 彦三 郎也 二輝 善勝 郎太 男一 夫男 三吉 一 爾

川崎 村村 村澤 本部 川井 尾谷 場田 岡下 本木 木野 川代 田本 本本 田木

西西 西西 西能 野橋 服長 藤藤 細堀 前松 松松 松三 三水 森森 八山 山吉 米領

昇四 郎三 門治 隆太 一郎 作雄 治郎 也雄 夫里 功治 三彦 夫人 郎雄 郎彦 潤行 三郎

敬市 總左 衛門 光太 俊恒 正勇 益俊 雅義 正正 哲秀 正滋 敏健 廣 晴准 新一

敬称略、あいうえお順
○印は、発起人
1996年5月

新聞記事

※新聞記事の見出しのみ掲載します

- P90 甲南大学よりのお知らせ 甲南大学を受験する皆さんへ 甲南大学在学性の皆さんへ
(朝日新聞 1 月 23 日)
自転車やバイク パンクの修理おまかせ 甲南大サイクリング部大活躍
(神戸新聞 2 月 5 日)
- P91 甲南大学からのお知らせ 受験生の皆さんへ 在学生の皆さんへ (朝日新聞 2 月 3 日)
「白亜城」70 年の歴史に幕 震災の甲南大本部棟解体へ 2 年めどに再建
(神戸新聞 2 月 7 日)
甲南大 来月に合同慰霊祭 死亡の 3 学生卒業認定 (神戸新聞 3 月 3 日)
甲南高等学校・中学校 在校生の諸君へ 受験生の皆さんへ (神戸新聞 2 月 2 日)
- P92 甲南大いばらの再建 120 億円年間予算分が損壊 プレハブ教室で入試
(読売新聞 2 月 9 日)
- P93 甲南大学理学部初の女性博士 自然科学研究科の勘場さん (神戸新聞 3 月 7 日)
被災キャンパスに歓声 甲南大学で合格発表 (朝日新聞 3 月 28 日)
甲南大が分散入試 関大など 3 会場で始まる (読売新聞 2 月 21 日)
仮校舎に夢弾む 甲南大入学式 20 日遅れで (朝日新聞 4 月 25 日)
- P94 同じ夢抱いて天国へ…大学の自由な校風共に愛し 白羽さん父子
(読売新聞 4 月 26 日)
被災の甲南大に新留学生 米国・カナダから 5 人 (神戸新聞 9 月 21 日)
- P95 大学祭も震災の色濃く 11 日から甲南大「摂津祭」開幕 (神戸新聞 11 月 2 日)
鼓動が聞こえる '95 兵庫スポーツ 45 年目 V…“震災”から始まった
(神戸新聞 12 月 17 日)

あ　と　が　き

甲南大学、甲南高等学校・中学校は、平成7年1月17日の阪神・淡路大地震によってその風景が大きく変貌してしまった。震災と復興へのプロセスの記録写真は、断片的に多くの関係者のカメラに収められ所蔵されていることと思われるが、年がたつにつれて散逸するおそれもある。個々に保存されている貴重な写真を一冊にまとめて多くの人々の共有財産とすることは、後の世に甲南学園の歴史を語る上でも、また、資料としても必要なことではないかと考えるに至った。昨年6月の学園の会議で提唱し出版企画を認めていただき、第1回の企画編集会議をもったのは、7月のことであった。以来、大学、高校・中学校の関係者と話し合い、企画部職員および六甲出版の肥後健治氏の協力のもとに、ここに一冊の震災写真記録集ができた。内容は、想い出、被災、再生、鎮魂、地域、資料の六つのパートから成っている。

甲南学園は、今から60年近く前の昭和13年にも阪神大水害を体験している。今回の大地震を通して、我々は自然との共生、人と人との互助の重要性を再認識した。しかし、月日がたつにつれて自然災害で学んだことも少しずつ風化しつつあるのではないかと懸念される。一葉一葉の写真は私達に何を語りかけているのであろうか。学びとることは多いように思われる。

平成9年1月17日

甲南大学副学長 **潮海 一雄**

学園が震えた日

発行・編集 学校法人 甲南学園
〒658 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号
TEL 078-431-4341 FAX 078-435-2546

印刷・製本 株式会社 六甲出版
〒657 神戸市灘区岩屋北町3丁目3番18号
TEL 078-871-1234 FAX 078-801-0006

発行年月日 平成9年3月1日